
■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【1日目】英語の発音に慣れていく：発音と綴りを意識する

Q1：次のうち、この発音のルール（a=ア、e=エ、i=イ、o=ア、u=ア）に当てはまらないものは？

- ① up：上へ
- ② apple：リンゴ
- ③ name：名前
- ④ ink：インク
- ⑤ hot：熱い
- ⑥ egg：卵

【解答と解説】③

up=アップ：短く、喉の奥から「アッ」と出す音です

apple=アップル：日本語の「ア」より口を左右に広く開ける「ア」です

name=ネーム：「e」は発音せず、手前の母音をアルファベット読み（エイ）にします

ink=インク：日本語の「イ」より少し力を抜いた短い音です

hot=ホット：アメリカ英語では「ホット」より「ハット」に近く聞こえます

egg=エッグ：日本語の「エ」に近い、キレの良い音です

※解説：nameのように、語尾が「母音+子音+e」の形になる単語は、最後のエ（e）を読まずに手前の母音をアルファベット読みする「マジックE（サイレントE）」というルールが適用されます。そのため、nameは「ア」という音になりません。

★アドバイス：英語の「ア」には複数の種類がありますが、まずはこの基本の5つをマスターしましょう。特に「hot」の「o」が「ア」に近い音になるのは、日本人が間違いやすいポイントです！

Q2：次のうち、この発音のルール（p=プ、b=ブ、qu=クウツ、x=クス、w=ウツ）に当てはまらないものは？

- ① box：箱
- ② phone：電話
- ③ quick：速い
- ④ cup：コップ
- ⑤ bag：鞆（かばん）
- ⑥ wind：風

【解答と解説】②

box=ボックス：語尾の「x」が「クス」という音

phone=フォウン：綴りに「p」が含まれますが、「ph」の組み合わせで「f（フ）」の音に変わります

quick=クイック：頭の「qu」が、唇を丸めて出す「クウツ」という音

cup=カップ：語尾の「p」を唇で弾いて出す「プ」の音

bag=バッグ：語尾の「g」を短く止めて出す「グツ」の音（※bも「ブ」です）

wind=ウインド：頭の「w」が、唇を強くすぼめて出す「ウツ」という音

※解説：「ph」は2文字セットで「f」と同じ「フ（上の前歯で下唇を噛む音）」になるルール（綴り字合体）のため、p単体の「プ」という音は出ません。そのため、phoneは当てはまりません。

★アドバイス：英語の子音は、日本語の「ぷ・ぶ」のように母音（u）を混ぜず、空気だけを出す意識で言うと、一気に英語らしいキレのある発音になりますよ。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【2日目】英語の発音に慣れていく：発音と綴りを意識する

Q3：次のうち、この発音のルール（y=イヤ、c=クッ、k=クッ、g=グッ、t=トッ、d=ドッ）に当てはまらないものは？

- ① desk：机
- ② ice：氷
- ③ yes：はい
- ④ cat：猫
- ⑤ egg：卵
- ⑥ tent：テント

【解答と解説】②

desk＝デスク：語尾の「k」を喉の奥で「クッ」と弾く音

ice＝アイス：cの後にeが来ると「ス」と読む（ソフトC）ルールが適用されます

yes＝イエス：頭の「y」は、日本語の「イ」よりも少し粘るように「イヤ」と出す音

cat＝キャット：頭の「c」を喉の奥で弾く、キレの良い「クッ」という音

egg＝エッグ：語尾の「g」を短く、喉を鳴らして「グッ」と出す音

tent＝テント：語尾の「t」は、舌先を弾いて息を吐き出す「トッ」という音

※解説：「c」の後にe, i, yが来ると「クッ」ではなく「ス」と読む（ソフトC）ルールになるため、iceは当てはまりません。

★アドバイス：yは「イエス」ではなく、少し粘るように「イエス」と言うと通じやすくなりますよ。

Q4：次のうち、この発音のルール（s=ス、c=ス、z=ズ、f=フ、v=ヴ、h=ハ）に当てはまらないものは？

- ① zero：ゼロ
- ② hour：時間
- ③ sun：太陽
- ④ face：顔
- ⑤ fan：うちわ
- ⑥ vest：チョッキ

【解答と解説】②

zero＝ズィーロウ：喉を震わせて「ズ」と出す、濁った音

hour＝アウア：頭の「h」を発音しない（黙字）ため、母音から始まります

sun＝サン：日本語の「ス」に近いですが、より鋭く息を吐き出す音

face＝フェイス：語尾の「ce」が「ス」という音

fan＝ファン：上の前歯で下唇を軽く押さえて息を出す「フ」という音

vest＝ヴェスト：上の前歯で下唇を軽く押さえて喉を震わせる「ヴ」という音

※解説：「h」を読まない「黙字」の単語です。綴りにあっても「ハ」という音は出ないため、hourは当てはまりません。

★アドバイス：fやvは「上の前歯で下唇を軽く押さえる」のが鉄則。日本語の「フ・ブ」とは全く違う音になります。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【3日目】英語の発音に慣れていく：発音と綴りを意識する

Q5：次のうち、この発音のルール（j=ジ、g=ジ、m=ム、n=ヌ、l=ル、r=ウルツ）に当てはまらないものは？

- ① night：夜
- ② lemon：レモン
- ③ jam：ジャム
- ④ orange：オレンジ
- ⑤ milk：牛乳
- ⑥ game：試合

【解答と解説】⑥

night=ナイト：頭の「n」を鼻に抜ける「ヌ」の音で発音

lemon=レモン：頭の「l」は、舌先を上の前歯の付け根に押し付けて出す「ル」の音

jam=ジャム：日本語の「ジ」に近い、唇を少し突き出して出す「ジ」の音

orange=オレンジ：語尾の「ge」が「ジ」という音

milk=ミルク：頭の「m」は、唇を閉じて鼻から「ム」と響かせる音

game=ゲーム：gの後にaが続く場合は、ルールが「グッ」に変わります

※解説：gの後にa, o, uが来る場合は、元の「ジ」ではなく「グッ」と読むルール（ハードG）になるため、gameは当てはまりません。

★アドバイス：rは舌をどこにも付けずに喉の奥へ引き、lは舌先を上の前歯の付け根にしっかり押し付けます。この違いが英語らしさの鍵です。

Q6：次のうち、この発音のルール（ch=チ、sh=シュ、si=ヂュ、su=ス、th=ス）に当てはまらないものは？

- ① vision：視覚
- ② south：南
- ③ sugar：砂糖
- ④ chop：切る
- ⑤ shop：店
- ⑥ summer：夏

【解答と解説】③

vision=ヴィジョン：綴りの「si」が、喉を震わせる「ヂュ」という音

south=サウス：語尾の「th」が、舌を挟んで出す「ス」という音

sugar=シュガー：綴りは「su」ですが、例外的に「シュ」と発音

chop=チョップ：頭の「ch」が、日本語の「チ」をより鋭くした音

shop=ショップ：頭の「sh」が、静かにさせるときの「シュ」という音

summer=サマー：頭の「su」が、日本語の「サ」に近い「ス」という音

※解説：suは通常「ス」と読みますが、sugar（砂糖）やsure（もちろん）などの単語では例外的に「シュ」と読むため、sugarは当てはまりません。

★アドバイス：th（ス）は、舌先を前歯で軽く挟んで、その隙間から息を出す音です。日本語の「サ」にならないよう、少し大げさに舌を出すのがコツです。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【4日目】英語の発音に慣れていく：発音と綴りを意識する

Q7：次のうち、この発音のルール（th=ズ、ck=クッ、ph=フ、gh=フ、wh=ホワッ、ng=ング）に当てはまらないものは？

- ① white：白
- ② they：彼ら
- ③ back：後ろ
- ④ ghost：幽霊
- ⑤ photo：写真
- ⑥ laugh：笑う

【解答と解説】④

white＝ホワイト：頭の「wh」が、息を吐き出しながら「ホワッ」と言う音

they＝ゼイ：頭の「th」が、喉を震わせて「ズ（ゼ）」と濁る音

back＝バック：語尾の「ck」が、短く「クッ」と止める音

ghost＝ゴースト：頭の「gh」は「フ」ではなく、単なる「グ」の音

photo＝フォウトウ：頭の「ph」が「フ」という音

laugh＝ラフ：語尾の「gh」が「フ」という音

※解説：ghは単語の途中で「フ」と読むことがありますが、単語の最初に来る場合はルールが変わり「グッ」と発音するため、ghostは当てはまりません。

★アドバイス：whの音は「ホ」を弱く、唇を鋭く突き出して「ウワッ」と言うと、非常にネイティブらしく聞こえるようになります。

Q8：次のうち、この発音のルール（ai=エイ、ay=エイ、ie=アイ/イー、ea=イー、ee=イー）に当てはまらないものは？

- ① day：日
- ② steak：ステーキ
- ③ mail：郵便
- ④ pie：パイ
- ⑤ tea：お茶
- ⑥ tree：木

【解答と解説】②

day＝デリ：語尾の「ay」が「エイ」という二重母音

steak＝スティック：綴りは「ea」ですが、例外的に「イー」ではなく「エイ」と発音

mail＝メイル：真ん中の「ai」が「エイ」という音

pie＝パイ：「ie」をアルファベットのI（アイ）と同じ音

tea＝ティー：真ん中の「ea」が、長く「イー」と伸ばす音

tree＝トリー：語尾の「ee」が、長く「イー」と伸ばす音

※解説：eaは通常「イー（eat, teaなど）」と読むのが基本ルールですが、steakやbreakといった単語では例外的に「エイ」と読むため、steakは当てはまりません。

★アドバイス：2つの母音が並んだら「1つ目の文字をアルファベット読み（aならエイ、eならイー）して、2つ目は読まない」のがフォニックスの基本ルール（母音チーム）です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【5日目】英語の発音に慣れていく：発音と綴りを意識する

Q9：次のうち、この発音のルール（oa=オウ、ow=オウ、ue=ユー/ウー、ui=ユー/ウー）に当てはまらないものは？

- ① juice：果汁
- ② brown：茶色
- ③ road：道
- ④ snow：雪
- ⑤ blue：青
- ⑥ fruit：果物

【解答と解説】②

juice＝ジュース：綴りの「ui」が、長く「ウー」と伸ばす音

brown＝ブラウン：綴りは「ow」ですが、ここでは「オウ」ではなく「アウ」と発音

road＝ロード：真ん中の「oa」が「オウ」という二重母音

snow＝スノウ：語尾の「ow」が「オウ」という音

blue＝ブルー：語尾の「ue」が、長く「ウー」と伸ばす音

fruit＝フルート：真ん中の「ui」が、長く「ウー」と伸ばす音

※解説：owには「オウ」と読むルールの他に、口を大きく開けて「アウ」と読むルールがあります。brown（茶色）やtown（町）はこちらの「アウ」に該当するため、ルールに当てはまりません。

★アドバイス：owの読み方に迷ったら、「低い（low/ロウ）」か「痛い！（ouch/アウチ）」のどちらに近いか考えてみると覚えやすいですよ。

Q10：次のうち、この発音のルール（oi=オイ、oy=オイ、ou=アウ、ow=アウ、au=オー）に当てはまらないものは？

- ① boy：男の子
- ② cloud：雲
- ③ soup：スープ
- ④ oil：油
- ⑤ town：町
- ⑥ sauce：ソース

【解答と解説】③

boy＝ボーイ：語尾の「oy」が「オイ」という音

cloud＝クラウド：真ん中の「ou」が「アウ」という二重母音

soup＝スープ：綴りは「ou」ですが、例外的に「アウ」ではなく「ウー」と発音

oil＝オイル：頭の「oi」が「オイ」という音

town＝タウン：真ん中の「ow」が「アウ」という音

sauce＝ソース：頭の「au」が、少し長めの「オー」という音

※解説：ouは通常「アウ（cloud, outなど）」と読むのが基本ルールですが、soup（スープ）やgroup（グループ）などの単語では例外的に「ウー」と読むため、soupは当てはまりません。

★アドバイス：au（オー）は、単なる日本語の「オ」よりも、少し口を縦に開けて喉の奥から響かせるように「オー」と出すのがコツです。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【6日目】英語の発音に慣れていく：発音と綴りを意識する

Q11：次のうち、この発音のルール（aw=オー、ew=ユー/ウー、ei=エイ）に当てはまらないものは？

- ① few：少しの
- ② saw：見た
- ③ height：高さ
- ④ drew：描いた
- ⑤ eight：8

【解答と解説】③

few=フュー：語尾の「ew」が「ユー」という音

saw=ソー：語尾の「aw」が、少し長めの「オー」という音

height=ハイト：綴りは「ei」ですが、例外的に「エイ」ではなく「アイ」と発音

drew=ドルー：語尾の「ew」が、長く「ウー」と伸ばす音

eight=エイト：頭の「ei」が「エイ」という二重母音

※解説：eiは通常「エイ（eight, weighなど）」と読むのが基本ルールですが、height（高さ）という単語では例外的に「アイ」と読むため、heightは当てはまりません。

★アドバイス：ewの「ウー」は、日本語の「ウ」よりも唇を強く前に突き出して発音すると、より英語らしい響きになります。

Q12：次のうち、この発音のルール（st=ストッ、sp=スプッ、sc=スクッ、sk=スクッ）に当てはまらないものは？

- ① science：科学
- ② stop：止まる
- ③ spoon：スプーン
- ④ score：得点
- ⑤ sky：空

【解答と解説】①

science=サイエンス：scの後にiが続いているため、「スクッ」ではなく「ス」という音

stop=ストップ：頭の「st」が、鋭い「ストッ」という音

spoon=スプーン：頭の「sp」が、唇を弾く「スプッ」という音

score=スコア：頭の「sc」が、喉の奥を弾く「スクッ」という音

sky=スカイ：頭の「sk」が、鋭い「スクッ」という音

※解説：scの後にi, e, yが来ると、の「スクッ」ではなく、単なる「ス」の音（ソフトCのルール）に変化するため、scienceは当てはまりません。

★アドバイス：sの後のt, p, kは、日本語の「ト、ポ、コ」のように母音を混ぜず、空気だけを強めに弾いて「無声音」で出すのが、カッコよく発音するコツです。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【7日目】

7日目は新しい配信はお休みです。1～6日までの文章を読み返してみてください。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【8日目】英語の発音に慣れていく：発音と綴りを意識する

Q13：次のうち、この発音のルール（sm=スム、sn=スヌ、squ=スクウ、sw=スウツ）に当てはまらないものは？

- ① answer：答え
- ② smile：微笑み
- ③ snake：ヘビ
- ④ square：正方形
- ⑤ swim：泳ぐ

【解答と解説】①

answer=アンスア：真ん中に「sw」の綴りがありますが、この「w」は発音しません

smile=スマイル：頭の「sm」が、唇を閉じて鼻から抜ける「スム」という音

snake=スネイク：頭の「sn」が、舌先を付けて鼻から抜ける「スヌ」という音

square=スクウェア：頭の「squ」が、「スク」と「ウ」を合わせたような音

swim=スウイム：頭の「sw」が、口をすぼめて出す「スウツ」という音

※解説：answerの「sw」の「w」は、綴りにはあっても音を出さない「黙字（もくじ）」です。の「スウツ」という音にはならないため、answerは当てはまりません。

★アドバイス：smileのmは、日本語の「ム」のように口を開けず、唇をしっかりと閉じて鼻から「ム～」と響かせるように意識すると、より英語らしい響きになります。

Q14：次のうち、この発音のルール（cl=クル、gl=グル、pl=プル、bl=ブル、fl=フル、sl=スル）に当てはまらないものは？

- ① plane：飛行機
- ② climb：登る
- ③ clock：時計
- ④ glass：コップ
- ⑤ blue：青
- ⑥ fly：飛ぶ

【解答と解説】②

plane=ブレイン：頭の「pl」が、唇を弾いてから舌を付ける「プル」の音になります

climb=クライム：語尾の「mb」の「b」を発音しない（黙字）という特殊なルールがあります

clock=クロック：頭の「cl」が、喉の奥を弾いてから舌を付ける「クル」の音

glass=グラス：頭の「gl」が、喉を鳴らしてから舌を付ける「グル」の音

blue=ブルー：頭の「bl」が、唇を弾いてから舌を付ける「ブル」の音

fly=フライ：頭の「fl」が、下唇を噛んでから舌を付ける「フル」の音

※解説：climbの「cl」自体はですが、この単語には「語尾のmbのbは発音しない」という強力な別のルールがあるため、ひっかけ問題として注意が必要です。

★アドバイス：Lの音は、舌の先を上歯の裏（付け根）にしっかりと「ペタッ」と押し付けたまま音を出すのがポイントです。鏡を見て、舌の裏が見えるくらいしっかり持ち上げてみましょう。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【9日目】英語の発音に慣れていく：発音と綴りを意識する

Q15：次のうち、この発音のルール（pr=プウル、br=ブウル、cr=クウル、gr=グウル、fr=フウル、dr=ジュウル、tr=チュウル）に当てはまらないものは？

- ① drink：飲む
- ② dry：乾いた
- ③ price：価格
- ④ bread：パン
- ⑤ green：緑
- ⑥ tree：木

【解答と解説】②

drink=ジュリンク：「dr」を「ジュ」に近い音で発音

dry=ジュライ：これも「dr」なので、本来は「ジュ」に近い音で発音するのがルール

price=プライス：頭の「pr」が、唇を弾いてから舌を巻く「プウル」の音

bread=ブレッド：頭の「br」が、喉を鳴らしてから舌を巻く「ブウル」の音

green=グリーン：頭の「gr」が、喉の奥を鳴らしてから舌を巻く「グウル」の音

tree=チュリー：「tr」を「チュ」に近い音で発音

※解説：drは日本語の「ド」ではなく、舌を弾く位置の関係で「ジュ」に近い音になるのが英語本来のルールです。そのため、dryを「ド」の音で発音してしまうと、このルールからは外れることになります。

★アドバイス：treeを「ツリー」、drinkを「ドリンク」と日本語風に言うに通じないことがあります。思い切って「チュ」「ジュ」と言うのが、ネイティブっぽく聞こえる最大のコツです！

Q16：次のうち、この発音のルール（spl=スプルッ、spr=スプウル、str=スチュウル、scr=スクウル、thr=スウル）に当てはまらないものは？

- ① spring：春
- ② street：通り
- ③ through：～を通り抜けて
- ④ splash：しぶき
- ⑤ screen：画面
- ⑥ three：3

【解答と解説】③

spring=スプリング：頭の「spr」が、唇を弾きながら舌を丸める音

street=スチュリート：頭の「str」が、「ス」＋「チュ」が混ざったような音

through=スウルー：「thr」を「スウル」と読みますが、これを「スロウ」と読むと間違いになります

splash＝スプラッシュ：頭の「spl」が、唇を弾いてから舌先を付ける音

screen＝スクリーン：頭の「scr」が、喉の奥を弾いてから舌を丸める音

three＝スウリー：頭の「thr」が、舌を挟んでから舌を丸める「スウル」の音

※解説：thrは舌を軽く挟む「th」の後に「r」が続くため、一気に「スウル」と読みます。

throughを「スロウ（投げるのthrowと同じ）」と読んでしまうと別の単語になってしまうため、注意が必要です。

★アドバイス：strは「ス・ト」と分けて、「スチュ」というひとまとまりの音で一気に出しましょう。ストリートではなく「スチュリート」と言うだけで驚くほど通じやすくなりますよ！

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【10日目】英語の発音に慣れていく：発音と綴りを意識する

Q17：次のうち、この発音のルール（ar＝アー、er/ir/ur＝ア、ear/ere/eer＝イアー）に当てはまらないものは？

- ① girl：女の子
- ② near：近い
- ③ heart：心臓
- ④ park：公園
- ⑤ her：彼女の
- ⑥ deer：鹿

【解答と解説】③

girl＝ガール：真ん中の「ir」が、口をあまり開けずにこもらせる「ア」の音

near＝ニア：語尾の「ear」が「イアー」という音

heart＝ハート：綴りは「ear」ですが、例外的に「ar」と同じ「アー」と発音

park＝パーク：真ん中の「ar」が、口を大きく開けて伸ばす「アー」の音

her＝ハー：語尾の「er」が、こもった「ア」の音

deer＝ディア：語尾の「eer」が「イアー」という音

※解説：earという綴りは、通常 near や hear のように「イアー」と読みますが、heart（心臓）という単語では例外的に park などと同じ「アー」と読むため、heartは当てはまりません。

★アドバイス：er, ir, ur の「ア」を出すときは、口を「ウ」に近い半開きの形にして、舌を喉の奥へグッと引いて音をこもらせるのがコツです。

Q18：次のうち、この発音のルール（oor/ure＝ウアー、are/air＝エアー、or/ore/oar＝オーア、ire＝アイア、our/ower＝アウアー）に当てはまらないものは？

- ① fire：火
- ② flower：花
- ③ door：ドア
- ④ pure：純粋な
- ⑤ care：世話
- ⑥ fork：フォーク

【解答と解説】③

fire＝ファイア：語尾の「ire」が「アイア」という音

flower=フラウア：語尾の「ower」が「アウアr」という音

door=ドーア：綴りは「oor」ですが、例外的に「ウアr」ではなく「オーアr」と発音

pure=ピュア：語尾の「ure」が「ウアr (ユアr)」という音

care=ケア：語尾の「are」が「エアーr」という音

fork=フォーク：真ん中の「or」が「オーアr」という音

※解説：oorという綴りは、通常 poor (貧しい) のように「ウアr」と読むのが基本ですが、door (ドア) や floor (床) といった単語では例外的に「オーアr (orと同じ音)」と読むため、doorは当てはまりません。

★アドバイス：Rで終わる音を発音するとき、日本語の「ル」のように舌先をどこにも付けてはいけません。舌を喉の奥へ引き、音をこもらせるだけでネイティブに通じる完璧なRになりますよ！

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【11日目】英語の発音に慣れていく：発音と綴りを意識する

Q19：次のうち、この発音のルール (bt=トッ、gn=又、wr=ウル、age=イジ、tion=ション、ture=チャア) に当てはまらないものは？

- ① write：書く
- ② sign：署名する
- ③ nature：自然
- ④ station：駅
- ⑤ debt：借金
- ⑥ stage：舞台

【解答と解説】⑥

write=ウライト：頭の「wr」の「w」は読まず、最初から口を丸めて「r」の音 (ウル) から始めます

sign=サイン：語尾の「gn」の「g」は読まず、鼻に抜ける「又」という音で終わります

nature=ネイチャア：接尾辞「ture」が「チャア」という音

station=ステーション：接尾辞「tion」が「ション」という音

debt=デット：語尾の「bt」の「b」は読まず、鋭く「トッ」と止める音

stage=ステイジ：ageで終わりますが、この単語は「イジ」ではなく「エイジ」と発音します

※解説：ageが「イジ」と読まれるのは、主に2音節以上の長い単語 (village/ヴィリッジ、image/イミッジなど) の場合です。stageやpageのような短い単語では、マジックEのルールが優先されて「エイジ」と読むため、このルールには当てはまりません。

★アドバイス：wr (ウル) やgn (又) のように、片方の文字を読まない「黙字 (もくじ)」をマスターすると、綴りを見ただけで正しく発音できるようになり、リーディングもスムーズになります！

Q20：次のうち、この発音のルール (a=アー、o=オー、ou=オー、oul=ウ、igh=アイ) に当てはまらないものは？

- ① night：夜
- ② four：4
- ③ could：～できた
- ④ water：水

⑤ bought：買った

⑥ house：家

【解答と解説】⑥

night＝ナイト：真ん中の「igh」が、アルファベットの「i」と同じ「アイ」という音

four＝フォー：真ん中の「ou」が、後ろに「r」が続くことで「オー」という音

could＝クッド：真ん中の「oul」のうち「l」を読まず、短く「ウ」と発音

water＝ウォーター：綴りは「a」ですが、「アー（またはオーに近い音）」と長く伸ばします

bought＝ボート：真ん中の「ou」が、後ろに「ght」が続くことで「オー」という音

house＝ハウス：綴りは「ou」ですが、この単語では「オー」ではなく「アウ」と発音

※解説：ouには「オー（four, bought）」と読むルールの他に、「アウ（house, cloud）」と読むルールがあります。今回は「オー」のルールを基準としているため、houseは当てはまりません。

★アドバイス：igh（アイ）やoul（ウ）のように、綴りは長いのに音は短いものは、セットで形を覚えてしまいましょう。特にcould, would, shouldの「oul」はすべて同じ「ウ」の音ですよ！

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【12日目】英語の発音に慣れていく：発音と綴りを意識する

Q21：次のうち、この発音のルール（al＝オーウ、all＝オーウ、ly＝リィ、lly＝リィ、y＝アイ）に当てはまらないものは？

① ball：ボール

② sky：空

③ slowly：ゆっくりと

④ walk：歩く

⑤ really：本当に

⑥ family：家族

【解答と解説】⑥

ball＝ボーウ：語尾の「all」が、少しこもった「オーウ」という音

sky＝スカイ：短い単語の最後にある「y」は、「アイ」と発音

slowly＝スロウリィ：接尾辞の「ly」が「リィ」という音

walk＝ウォーク：綴りに「al」が含まれ、「オー」に近い音（Lは発音しません）

really＝リアリィ：接尾辞の「lly」が「リィ」という音

family＝ファミリー：語尾は「ly」の音（リィ）ですが、綴りが「y」単体のためルールに当てはまりません

※解説：familyの語尾は音こそ「リィ」ですが、この問題のルールでは「y＝アイ（sky, fly など）」としています。familyやhappyのように、2音節以上の単語の最後に来る「y」は「イー」または「ィ」と読む別のルールに該当するため、今回の「アイ」のルールからは外れます。

★アドバイス：allやalの「オーウ」は、日本語の「オール」のように舌を弾かず、舌先を上歯の付け根につけたまま「ウ」に近い音で止めるのがネイティブ流です！

Q22：次のうち、この発音のルール（ce=ス、ci=ス、cy=ス、ge=ヂ、gi=ヂ、gy=ヂ）に当てはまらないものは？

- ① city：市、都会
- ② girl：女の子
- ③ pencil：鉛筆
- ④ orange：オレンジ
- ⑤ gym：体育館
- ⑥ ice：氷

【解答と解説】②

city=シティ：「ci」が「ス」の音

girl=ガール：「gi」ですが、例外的に「ヂ」ではなく本来の「ガ」の音で読みます

pencil=ペンスシル：真ん中の「ci」が「ス」の音

orange=オウレンジ：語尾の「ge」が「ヂ」という音

gym=ジム：頭の「gy」が「ヂ」という音

ice=アイス：語尾の「ce」が「ス」という音

※解説：cやgの後に e, i, y が続くと、音が柔らかくなる（c→ス、g→ヂ）という非常に重要なルールがありますが、girl や gift、get などは「g」の音が変わらない例外的な単語です。

そのため、girlは当てはまりません。

★アドバイス：この「ソフトC・ソフトG」のルールを知っていると、初めて見る長い単語でも読み間違いが劇的に減りますよ！

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【13日目】英語の発音に慣れていく：発音と綴りを意識する

Q23：次のうち、この発音のルール（無声音+ed=トゥ、有声音+ed=ドウ、t・d+ed=イッドゥ）に当てはまらないものは？

- ① watched：見た
- ② played：遊んだ
- ③ wanted：欲しかった
- ④ cooked：料理した
- ⑤ naked：裸の
- ⑥ called：呼んだ

【解答と解説】⑤

watched=ウォッチト：語尾が「ch（無声音）」なので、「トゥ」と軽く弾く音

played=プレイドゥ：語尾が母音（有声音）なので、「ドウ」と濁る音

wanted=ウォンティッドゥ：語尾が「t」なので、「イッドゥ」とはっきり発音

cooked=クックト：語尾が「k（無声音）」なので、「トゥ」という音

naked=ネィキッド：見た目は「k+ed」ですが、形容詞として「イッド」と読む例外単語です

called=コールドゥ：語尾が「l（有声音）」なので、「ドウ」という音

※解説：動詞の過去形の「ed」には3つのルールがありますが、naked（裸の）や wicked（邪悪な）などの一部の形容詞は、動詞のルールに関係なく「イッド」と発音する例外です。そのため、nakedは当てはまりません。

★アドバイス：edをすべて「エド」と読まないのがポイント！「トゥ」や「ドウ」は、母音を入れずに舌先を弾くだけにすると、一気に英語らしいリズムになります。

Q24：次のうち、この発音のルール（kn=ヌ、mb=ム、alk=オーク、wh=ウ、gh=（読まない））に当てはまらないものは？

- ① knee：ひざ
- ② talk：話す
- ③ climb：登る
- ④ white：白
- ⑤ ghost：幽霊
- ⑥ night：夜

【解答と解説】⑤

knee=ニー：頭の「kn」は、「k」を読まずに「n」の音（ヌ）から始めます。talk=トーク：綴りに「al」が含まれますが、「l」を読まず「オーク」と発音

climb=クライム：語尾の「mb」は、「b」を読まずに「m」の音（ム）で終わります

white=ウワイト：頭の「wh」は、「h」を読まず「w」の音（ウ）から始めます

night=ナイト：真ん中の「gh」は、発音せず、前の母音を長く読みます

ghost=ゴウスト：頭の「gh」は「g」の音（グ）としてしっかり発音するため、ルールに当てはまりません

※解説：ghは、nightやlightのように語中や語末では「読まない」のが基本ルールですが、ghost（幽霊）やghetto（スラム街）のように単語の頭に来る場合は、例外的に「g（グ）」の音として発音されます。そのため、ghostは当てはまりません。

★アドバイス：英語には「書くけれど読まない文字」がたくさんあります。これは大昔には発音されていた名残（なごり）だと言われています。歴史を感じながら、「読まない文字」を見つけるのを楽しんでみてくださいね！

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【14日目】

14日目は新しい配信はお休みです。8～13日までの文章を読み返してみてください。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【15日目】聞き覚えのあるカタカナ語：発音と綴りを意識する

Q.次の言葉の正しい綴りを選ぶ。

- 1. 「スタート：出発・開始」 A. stort B. start C. sturt D. staet
- 2. 「チケット：入場券・切符」 A. tiket B. tiquett C. ticket D. tecket
- 3. 「スタッフ：店員・職員」 A. staf B. stuff C. staff D. staph
- 4. 「マネージャー：支配人・監督」 A. maneger B. manajer C. manejer D. manager
- 5. 「メッセージ：声明・伝言」 A. massage B. messege C. mesage D. message

【解答例】

- 1. B. start

※「スター（star）」に「t」をつけるだけです。「ar」の発音とつづりに注意しましょう。口を大きく開けて喉の奥から出す「アー」という音（+Rの音）です。同じ発音の単語に

car (車)、park (公園)、hard (硬い・難しい) があります。stortは「ストート」、sturtのurlは「ウー」とこもった音になると思います。

2. C. ticket

※ ポケット (pocket) やステッカー (sticker) と同じく、「ck」で「ック」の音を表します。tiketは「c」が抜けています。「子音+ick」で同じ発音をする単語に kick (蹴る)、pick (選ぶ・拾う)、sick (病気の) があります。tiquett: フランス語のエチケット (étiquette) のような雰囲気ですが、英語ではありません。

3. C. staff

※ 「a」と「ff」がポイント。「ア」と「エ」の間のような、潰れた「ア」の音です。同じ発音に cat (猫)、map (地図)、back (背中・後ろ) があります。stuffは発音は似ていますが「物・材料」という意味の全く別の英単語です。staf: 短母音の後のfは重ねるのが基本ルールです。

※ ルールも良く聞くカタカナ英語ですね。「rule」と書きます。

4. D. manager

※ 動詞「管理する (manage)」に「人を表すer」がついた形です。maneger: 真ん中の音は「ne」ではなく「na」です。出だしの ma の部分は「ア」と「エ」の間で man (男の人)、plan (計画)、happy (幸せな) も同じ発音です (3. staff と同じ)。manajer: ローマ字読みでは読めますが、英語ではjではなくgを使います。

5. D. message

※ 「me」で始まり「エ」に近い音で pen (ペン)、bed (ベッド)、desk (机) などと同じ発音です。また「ss」とsを2回重ねます。massageは「マッサージ (揉むこと)」という別の単語です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【16日目】聞き覚えのあるカタカナ語：発音と綴りを意識する

Q. 次の言葉の正しい綴りを選ぶ。

1. 「キャリア：経歴」 A. carier B. carrer C. career D. karea
2. 「システム：体系・制度」 A. sistem B. system C. systum D. cystem
3. 「ビデオ：映像」 A. bideo B. viedo C. vidio D. video
4. 「チーム：一団」 A. teem B. teme C. team D. teame
5. 「バランス：つりあい・均衡」 A. barance B. balanse C. ballance D. balance

【解答例】

1. C. career (キャリア)

※ エンジニア (engineer) と同じく、語尾が「eer」になって伸ばす音を表します。「reer」の部分は、日本語の「イア」に近い「耳 (ear)」と同じ音で、「eer」の発音は beer (ビール)、volunteer (ボランティア)、hear (聞く) と同じです。

carierは「運ぶ人 (carrier)」に近いですがその場合も「r」が2つ必要です。

2. B. system (システム)

※ シンボル (symbol) やリズム (rhythm) と同じく、「イ」の音に「y」が使われます。綴りは y ですが発音は i と同じで gym (ジム・体育館)、city (都市) などが同じ発音です。sistem: ローマ字的には正しそうですが、英語では y です。

3. D. video (ビデオ)

「ヴィ」の音なので v で始まります。visit (訪問する) と同じです。ラジオ (radio) につられて最後を io にしがちですが、eo です。ラテン語の「見る (videre)」が語源。

4. C. team (チーム)

※ 「ea」で口を横に引いて長く伸ばす音で「イー」と読みます。お茶の「tea」にmをつけると覚えると簡単です。「ea」で「イー」と読む単語に sea (海)、meat (肉)、speak (話す) などがあります。teemは「(雨などが) 激しく降る」「満ちる」という別の単語です。

5. D. balance (バランス)

※ 日本人が苦手なrとlですが、バランスはlです。barance: rではありません。ballance: ボール(ball)につられてlを重ねがちですが、lは1つです。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【17日目】聞き覚えのあるカタカナ語：発音と綴りを意識する

Q.次の言葉の正しい綴りを選ぶ。

1. 「カレンダー：暦」 A. calender B. calandar C. calendar D. karenda
2. 「(商品の)ラベル：貼り紙」 A. lable B. labal C. rabell D. label
3. 「ビジネス：事務・仕事」 A. buisness B. business C. business D. busines
4. 「スケジュール：日程・予定表」 A. schejule B. skedule C. schdule D. schedule
5. 「レシート：領収書」 A. receit B. reciept C. receipt D. reseat

【解答例】

1. C. calendar (カレンダー)

※ 最大のひっかけポイントは語尾です。「er」と書きがちですが、正しくは「ar」です。calenderは実は別の単語、「(紙などを) プレスする機械」という意味の専門用語です。

2. D. label (ラベル)

※ table (テーブル) につられて「le」と書きがちですが、正しくは「el」です。同じくtableに引っ張られてlableも英語っぽいですが存在しないつづりです。「ラベル」や「レーベル」とカタカナで書かれますが発音は「レイベル」に近く、同じように発音する単語にcake (ケーキ)、name (名前) などがあり、「母音+子音+e」で終わる単語の最初の母音はアルファベット読みするルールも有名です。

3. B. business (ビジネス)

※ 「忙しい (busy)」の名詞形なので、u → i と変化します。「busi (ビジ) + ness」と覚えましょう。発音からbuisnessなどとuとiの順番を間違えやすい。

4. D. schedule (スケジュール)

※ 発音は「ケ」に近いですが、つづりは「sch」を使います (school: スクールと同じ)。sche の「e」は日本語の「エ」に近い音で、red (赤)、head (頭)、friend (友達) と同じ音です。schejule: 「ジ」の音に引っぱられてjを入れたくなりますが、duで「ジュ」と読みます。

5. C. receipt (レシート)

※ 発音しない「p」が入るのが最大の特徴です。receitと間違いやすいです。アクセントのある ceipt の「ei」の部分は、口を横に引いて長く「イー」と伸ばす音で、eat (食べる)、seat (座席)、key (鍵) と同じ音です。またreseatは「席に着き直す (re-seat)」という意味の単語になります。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【18日目】聞き覚えのあるカタカナ語：発音と綴りを意識する

Q.次の言葉の正しい綴りを選ぶ。

1. 「アルコール：酒」 A. alchcohol B. alcohol C. alchol D. alcohall

2. 「セパレート：区分・分かれている」 A. sepeate B. separate C. separeit D. ceperate
3. 「アドレス：宛先・住所」 A. adress B. addres C. address D. adresss
4. 「(食後の)デザート」 A. desert B. dezert C. dessert D. desart
5. 「ライセンス：許可・免許」 A. lisence B. license C. lisense D. lycence

【解答例】

1. B. alcohol (アルコール)

※ hが入るのは後半の「hol」だけです。alcoholのように前半にもhを入れたくなりますが、不要です。はじめのalの部分にアクセントがあり、口を横に開ける「ア」と「エ」の中間の音(/æ/)でapple(りんご)、cat(猫)、map(地図)などと同じ音です。よく出てきますね。

2. B. separate (セパレート)

※ 真ん中は「e」ではなく「a」です(sep-a-rate)。seperateのように発音につられてeにしてしまうミスが多いです。アクセントはsepの部分です。「ate」の音を意識すると、綴りも覚えやすくなります(「母音+子音+e」で終わる単語)。date(日付・デート)、late(遅い)、gate(門)と同じ発音です。

3. C. address (アドレス)

※ dもsも「2回ずつ」重ねます。adressのようにdを1つにしがちですが間違いです。「洋服のドレス(dress)」と同じ発音なので、ad-dressと意識すると綴りも覚えやすくなります。

4. C. dessert (デザート)

※ 甘いものは別腹でたくさん食べるので、sが2つ(ss)と覚えましょう。アクセントはsertの部分で、同じリズムで覚えられる単語にinsert(挿入する)、assert(主張する)などがあります。desertとsが1つだと「砂漠」となり、発音もアクセント位置も変わります。

5. B. license (ライセンス)

※ アクセントがliで「lic」は「s」の音ですが「c」を使います。ice(氷)に「l」が付いていると覚えれば間違いは減ります。あと、ものすごく細かい話でイギリス英語では名詞として使う場合のみlicenceを使います。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【19日目】聞き覚えのあるカタカナ語：発音と綴りを意識する

Q.次の言葉の正しい綴りを選ぶ。

1. 「リズム：韻律・調子」 A. rythm B. rithm C. rhythm D. rhithm
2. 「キャンペーン：運動・宣伝活動」 A. campain B. campane C. campaign D. kanpain
3. 「サイン：署名・合図」 A. sine B. sign C. sain D. sighn
4. 「(飲み物の)ジュース」 A. juce B. juse C. juice D. gewce
5. 「シーン：場面・光景」 A. scene B. seen C. sean D. scean

【解答例】

1. C. rhythm (リズム)

※ 非常に難しいつづりです。「r」の直後に、発音しない「h」が入るのが最大の特徴です。この「rh」の形を視覚的に覚えましょう。rh始まりの単語にrhyme(韻を踏む・ライム)、rhapsody(狂詩曲・ラプソディ)と音楽に関するものもあれば、rhino(サイ ※rhinocerosの略)なんてものもあります。

2. C. campaign (キャンペーン)

※ 発音しない「g」が入るのがポイントです。雨 (rain) や痛み (pain) と同じ感覚で書くとcampainと間違えます。「g」は書いても読みません。gを読まない単語に、foreign (外国の)、reign (統治する) などがあります。

3. B. sign (サイン)

※ シグナル (signal) の仲間なので、発音しなくても「g」が残ります。「アイ」と読むのに「ign」と書くグループ、design (デザイン・設計)、align (整列させる)、resign (辞職する) でまとめて覚えるのが近道です。また Sineは数学の「サイン (sin/正弦)」になります。

4. C. juice (ジュース)

※ 「ui」という母音の並びに注意です。「ウー」と伸ばす音ですが、uだけでなくiがくっついていきます。fruit (フルーツ・果物)、suit (スーツ・似合う)、cruise (クルーズ・巡航する) などが仲間です。

5. A. scene (シーン)

※ サイエンス (science) と同じく「sc」で始まります。「s」の音ですが「c」が隠れているのがポイントです。science (科学・サイエンス)、scent (香り)、scissors (ハサミ) が仲間です。seenは「見る (see)」の過去分詞形で、発音はsceneと全く同じです。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【20日目】聞き覚えのあるカタカナ語：発音と綴りを意識する

Q. 次の言葉の正しい綴りを選ぶ。

1. 「アクセス：交通手段・接近」 A. acsess B. access C. acess D. axess
2. 「スケール：規模・寸法」 A. skale B. scale C. scail D. sceal
3. 「モデル：型・手本」 A. modle B. model C. model D. modal
4. 「レシーブ：受ける(バレーボールなど)」 A. recieve B. receive C. reseave D. reiceve
5. 「グローバル：世界的な」 A. grobal B. globall C. globel D. global

【解答例】

1. B. access (アクセス)

※ cc と ss、両方とも2回重ねます。「cc」と書いて「クス」という音 (/ks/) になるのが特徴です。最初のcは「ク」、次のcは「ス」と読みます。success (成功)、accept (受け入れる)、accident (事故) が仲間です。

2. B. scale (スケール)

※ 「カ」行の音ですが、kではなくc (sc) を使います。「視線を這わせる・登る (scan)」と同じ語源で「目盛り・はしご」の意味。発音の仲間に scan (スキャン・走査する) の他、score (スコア・得点)、scarf (スカーフ) などがあります。

3. B. model (モデル)

※ ラベル (label) と同じく、語尾は「el」です。level (レベル・水準)、towel (タオル) などが仲間ですが、modle (le) と間違えやすいので、「エル (el)」の綴りを意識しましょう。modalは「形態の・様式の」という意味の別単語です。

4. B. receive (レシーブ)

※ 英語の有名な綴りルール「cの後では、eがiより先に来る (cをとったらei)」です。recieveと「i」を先に書いてしまうミスが多いので、このルール (cei) で覚えましょう。同じルールの単語に ceiling (天井)、receipt (レシート)、deceive (だます) などがあります。

5. D. global (グローバル)

※ 球体 (globe) の形容詞形なので al で終わります。名詞の後ろに「al」をつけて形容詞にするパターンをまとめて覚えると効果的です。また、RではなくL (gl) である点も重要です。local (ローカル・地元の)、total (トータル・全体の) などは「o_al」で同じリズムの単語です。また「l」と「r」の区別で近い発音のものに grove (木立) とglove (手袋) があります。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【21日目】

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【22日目】多義語の意味から単語のコアイメージをつかむ

Q. 次の単語のコアイメージとして最も適切なものを選ぶ。

・第1問：run (主な意味：走る・経営する・流れる・立候補する)

A. 地面を足で強く蹴って進むこと B. 何かが継続して滑らかに動いていること C. 競争して相手に勝つこと D. 目的地に向かって急ぐこと

・第2問：book (本・予約する・調書をとる)

A. 情報を書き留めて固定 (確保) すること B. 物語を読んで楽しむこと C. 紙を何枚も重ねて閉じること D. 前もって口約束をすること

・第3問：spring (春・バネ・泉・急に動く)

A. 暖かくて穏やかな状態 B. 金属でできたグルグル巻きのもの C. 急に勢いよく飛び出す・湧き出ること D. 清らかで透き通った水

【解答例】

＞第1問：B. 何かが継続して滑らかに動いていること

※ 「run」の本質は「何かが止まらずに連続して動いている状態」です。

人が連続して動く → 走る / 水が連続して動く → 流れる / 機械が連続して動く → 作動する / 会社が止まらず動く → 経営する / ストッキングの糸がツーっと動く → 伝線する

＞第2問：A. 情報を書き留めて固定 (確保) すること

※ 昔、ブナの木製の板 (Bookの語源) に記録を残したことから、「台帳に名前や情報を書き込む」というのが動詞のコアです。

ホテルの宿帳に名前を書く (部屋を確保する) → 予約する / 警察が違反者の名前を調書に書く → 調書をとる

＞第3問：C. 急に勢いよく飛び出す・湧き出ること

※ 「何かがピョン! と勢いよく現れる」イメージです。

植物が芽吹く季節 → 春 / 水が地中から湧き出る → 泉 / 力が加わって跳ね返る → バネ / 急に跳び起きる → 跳ねる

※語源など諸説あるものも1つだけを取り出して使っている場合があります。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【23日目】多義語の意味から単語のコアイメージをつかむ

Q. 次の単語のコアイメージとして最も適切なものを選ぶ。

・第4問：train (電車・訓練する・ドレスの裾)

A. 線路の上を走る乗り物 B. 長くぞろぞろと引っ張られる「列」 C. 厳しい試練を乗り越えること D. 多くの人を一度に運ぶこと

・第5問：sound (健全な・ぐっすりと／音)

A. 耳に心地よい響きがある B. 静かで穏やかな状態 C. 論理的に正しいこと D. 欠けがなく、完全で健康的であること

・第6問：fine (元気な・素晴らしい・罰金・細かい)

A. お金を支払って解決すること B. 終わらせて、区切りをつけること C. 陽気で明るい気分であること D. 芸術的で美しいこと

【解答例】

>第4問：B. 長くぞろぞろと引っ張られる「列」

※ 語源はラテン語の「trahere（トラヘレ）：引く」。「後ろに長くズルズルと続くもの」がコアです。

車両が長くつながったもの → 電車 / ドレスの後ろに長く引きずる部分 → (ドレスの) 裾 / 一連のカリキュラムを順に引っ張っていく → 訓練する

>第5問：D. 欠けがなく、完全で健康的であること

※ 「傷がなく全体が整っている」というのが形容詞のコアで、名詞の語源（音・響き）とは別です。

体が完全な状態 → 健康な (Sound body) / 途中で途切れない完全な眠り → ぐっすり (Sound sleep) / 論理に欠陥がない → 正論の (Sound argument)

>第6問：B. 終わらせて、区切りをつけること

※ 意外かもしれませんが、語源は「Finish（終わる）」と同じです。「仕上げられた・区切りがついた」がコアです。

よく仕上げられた質が高いもの → 素晴らしい / 粉などを最後まで細かく挽いた（仕上げた） → 微細な / 議論を終わらせるために払う金 → 罰金 / 問題が解決（終了）している状態 → 元気な・大丈夫な (I'm fine)

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【24日目】多義語の意味から単語のコアイメージをつかむ

Q. 次の単語のコアイメージとして最も適切なものを選ぶ。

・第7問：match (試合・マッチ・似合う・匹敵する)

A. 火をつけて燃やすこと B. 2つのものを並べて合わせること C. 激しく戦って勝敗を決めること D. 棒状の細長いもの

・第8問：change (変える・お釣り・小銭・着替え)

A. 新しいものを作り出す B. 何かを交換する（入れ替える） C. 成長して大きくなる D. 不要なものを捨てる

・第9問：present (贈り物・現在・出席している・提示する)

A. 目の前にある（存在する） B. 特別で高価なもの C. 時間が流れていく様子 D. 気持ちを包んで渡すこと

【解答例】

>第7問：B. 2つのものを並べて合わせること

※ 「対（つい）になるもの・仲間」が原義です。

対戦相手を合わせる → 試合 / 2つのものがぴったり合う → 似合う・匹敵する・調和する / 火をつける道具のマッチ (Match) は、摩擦で「(こすり)合わせる」ことから。

>第8問：B. 何かを交換する（入れ替える）

※ 単なる変化ではなく「AとBを交換する」という感覚が強いです。

服をAからBに入れ替える → 着替える / 1000円札を100円玉10枚と交換する → 両替・小銭 / 買い物で「品物代」と「支払額」の差額を交換して戻す → お釣り

>第9問：A. 目の前にある（存在する）

※ 語源は「pre（前に）+ esse（ある）」。「今、まさにここ（目の前）にある」がコアです。

目の前の時間 → 現在 / その場に体がある → 出席している / 人の目の前に差し出す → 提示する・発表する / 目の前に差し出された物 → 贈り物

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【25日目】多義語の意味から単語のコアイメージをつかむ

Q. 次の単語のコアイメージとして最も適切なものを選ぶ。

・第10問：fair（公平な・博覧会・晴天・色白の）

A. 誰にでも同じ量を分ける B. 濁りがなく、きれいで美しい C. 多くの人が集まって楽しむ D. ルールを厳格に守る

・第11問：close（閉める・近い・親しい）

A. 扉に鍵をかけること B. 隙間（ギャップ）をなくしてピッタリとくっつく C. 遠く離れた場所から見ること D. 終わりを迎えること

・第12問：bank（銀行・土手・傾く）

Q. この単語のコアイメージは？ A. お金を安全に保管する場所 B. 盛り上がった台・土手 C. 川のそばにある平らな土地 D. 飛行機が空を飛ぶこと

【解答例】

>第10問：B. 濁りがなく、きれいで美しい

※ もともとは「美しい・きれいな」という意味です。

濁りのない空 → 晴天 (Fair weather) / 濁りのない肌 → 色白の・金髪の (Fair skin) / ズル（濁り）のない判定 → 公平な (Fair play) / 「博覧会・お祭り」のFairだけは「休日 (Feria)」という別の語源ですが「ハレの場」として一緒に覚えると楽です。

>第11問：B. 隙間（ギャップ）をなくしてピッタリとくっつく

※ 発音は動詞が「クローズ」、形容詞が「クローズ」ですが、イメージは同じです。

ドアの隙間をなくす → 閉める / 距離の隙間がない → 近い / 心の距離（隙間）がない → 親しい / 差がほとんどない → 際どい・接戦の (A close game)

>第12問：B. 盛り上がった台・土手

※ 「ベンチのような台」「盛り上がった場所」がコアです。

川沿いの盛り上がった場所 → 土手 / 昔、両替商がベンチ（台）でお金を扱った → 銀行 / 飛行機が土手のように斜めになる → （旋回のために）傾く

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【26日目】多義語の意味から単語のコアイメージをつかむ

Q. 次の単語のコアイメージとして最も適切なものを選ぶ。

・第13問：miss（失敗する・恋しく思う・～さん）

A. 涙を流して悲しむこと B. 狙った対象をとらえ損なう（つながらない） C. 若い女性に話しかけること D. 大切なものを失くすこと

・第14問：mean（意味する・意地悪な・平均・本気で言う）

A. とても怒っている B. 中くらい・並・共有の C. 相手を傷つけようとする D. 価値が高い・貴重な

・第15問：room（部屋・余地・機会）

- A. 四方を壁で囲まれた場所 B. 人が住むための建物 C. 空いているスペース（空間）
D. 整理整頓された状態

【解答例】

＞第13問：B. 狙った対象をとらえ損なう（つながらない）

※ 「接触しない・つながらない」という欠落のイメージです。

的に当たらない・電車に乗れない → 失敗する・逃す / 会いたい人につながれなくて心が痛む → 恋しく思う (I miss you) / まだ誰とも（結婚相手と）つながっていない女性 → Miss（敬称）

＞第14問：B. 中くらい・並・共有の

※ medium 「媒介、中間」と同じ語源ですが、いろんな意味に派生しています。

誰でも使える「共有の・並の（Common）」もの → 「ありふれた」「質が低い」 → 「卑しい」「（性格が）意地悪な」と変化しました。「普通」では物足りないと感じてしまう（すごいものを目指したい）人間の欲は今も昔も変わらないですね。一方、数学では「中間」なので平均。動詞では「心（Mind）」と関連し意味するとなります。

＞第15問：C. 空いているスペース（空間）

※ 「部屋」と訳すと壁が必要に思えますが、本質は「何かが入れるスペース」です。

仕切られたスペース → 部屋 / まだ入るスペースがある → 余地 (Room for improvement：改善の余地) / 割り込むスペース（チャンス）がある → 機会

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【27日目】多義語の意味から単語のコアイメージをつかむ

Q. 次の単語のコアイメージとして最も適切なものを選ぶ。

・第16問：fly (飛ぶ・ハエ・チャック)

A. 羽を使って空中に浮くこと B. 空中を素早く移動する・パタパタする C. 飛行機に乗って旅行する D. ズボンの前にある金具

・第17問：light (光・軽い・火をつける)

A. 重さや暗さを取り払った状態 B. 太陽のように熱いもの C. スピードが速いこと D. 色が鮮やかであること

・第18問：break (壊す・休憩・違反する・急に伝わる)

A. 物を粉々に粉砕すること B. 連続しているものの流れを断ち切る C. 仕事を休んでリラックスすること D. ルールを無視して勝手に行動すること

【解答例】

＞第16問：B. 空中を素早く移動する・パタパタする

※ 単に浮くだけでなく「素早い動き」「パタパタする布」のイメージです。

ぶんぶん飛び回る虫 → ハエ / ボールなどが空中を飛ぶ → 飛ぶ / テントやズボンの入り口でパタパタする布（比翼） → チャック・ファスナー（Social window）

＞第17問：A. 重さや暗さを取り払った状態

※ 実は「光（Light）」と「軽い（Light）」は別の語源ですが、「重荷（暗闇）がなくなり、浮き上がる」イメージで統一すると覚えやすいです。

暗闇がない → 明るい・光 / 重さがない → 軽い / 味がしつこくない → あっさりした (Light taste) / 薪に火をつけて明るく・軽くする（熱気で浮く） → 点火する

＞第18問：B. 連続しているものの流れを断ち切る

※ 破壊だけでなく、「継続している状態をバシッと切る」イメージです。

物の形を断ち切る → 壊す / 仕事の流れを一旦切る → 休憩 / 法律やルールの継続を守らない → 違反する / 静寂を破って急にニュースが入る → (ニュースが) 飛び込んでくる (Breaking news)

※多義語は他にもたくさんあります。コアイメージをつかめていると、熟語を覚えるときにもとても有利になりますので、ぜひいろんな単語の意味の源を自分なりのものでよいので探ってみてください。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける
【28日目】

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける
【29日目】 語尾で品詞が変わることを意識する

Q. act は「行動する」という動詞で、[名詞] action (行動・活動) [形容詞] active (活動的な) [副詞] actively (活発に)と変化することを参考に、次のすべての単語に品詞と意味の組み合わせを作ります。

- ・第1問：care [動詞] 気にかける
単語：①care ②careful ③carefully
品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞
意味：Ⅰ 注意・世話 Ⅱ 注意深い Ⅲ 慎重に
- ・第2問：create [動詞] 創造する
単語：①creatively ②creation ③creative
品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞
意味：Ⅰ 創造的に Ⅱ 創造・作品 Ⅲ 創造的な
- ・第3問：decide [動詞] 決める
単語：①decisive ②decision ③decisively
品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞
意味：Ⅰ 決定的な Ⅱ 決定 Ⅲ 断固として

【解答例】

- >第1問：①care [名] 注意・世話 / ②careful [形] 注意深い / ③carefully [副] 慎重に
>第2問：①creatively [副] 創造的に / ②creation [名] 創造・作品 / ③creative [形] 創造的な
>第3問：①decisive [形] 決定的な / ②decision [名] 決定 / ③Decisively [副] 断固として
※それぞれの品詞で似たようなパーツや音の雰囲気などを感じることを目指してください。
※各品詞の意味も、丸暗記ではなく同じ単語の派生から来ていることを確認しましょう。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける
【30日目】 語尾で品詞が変わることを意識する

Q. depend は「頼る」という動詞で、[名詞] dependence (依存) [形容詞] dependent (依存している) [副詞] dependently (依存して)と変化することを参考に、次のすべての単語に品詞と意味の組み合わせを作ります。

- ・第1問：differ [動詞] 異なる
単語：①difference ②differently ③different
品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞

意味：Ⅰ異なる Ⅱ違い Ⅲ異なって

- ・第2問：ease [動詞] 楽にする

単語：①easily ②easy ③ease

品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞

意味：Ⅰ簡単に Ⅱ容易さ・気楽さ Ⅲ簡単な

- ・第3問：effect [動詞] 結果をもたらす

単語：①effect ②effective ③effectively

品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞

意味：Ⅰ効果的に Ⅱ効果・影響 Ⅲ効果的な

【解答例】

>第1問：①difference [名]違い / ②differently [副] 異なって / ③different [形] 異なる

>第2問：①easily [副] 簡単に / ②easy [形] 簡単な / ③ease [名] 容易さ・気楽さ

>第3問：①effect [名] 効果・影響 / ②effective [形] 効果的な / ③effectively [副] 効果的に

※形容詞は「<簡単な>問題」のように名詞に意味を足すことができます。

※副詞は「(簡単に)解く」のように名詞以外、主に動詞に意味を足すことができます。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【31日目】語尾で品詞が変わることを意識する

Q. hope は「望む」という動詞で、[名詞] hope (希望) [形容詞] hopeful (希望に満ちた) [副詞] hopefully (願わくば)と変化することを参考に、次のすべての単語に品詞と意味の組み合わせを作ります。

- ・第1問：realize [動詞] 悟る・実現する

単語：①real ②reality ③really

品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞

意味：Ⅰ本当に Ⅱ本当の Ⅲ現実

- ・第2問：succeed [動詞] 成功する

単語：①real ②reality ③really

品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞

意味：Ⅰ本当に Ⅱ本当の Ⅲ現実

- ・第3問：understand [動詞] 理解する

単語：①understanding ②understandably ③understandable

品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞

意味：Ⅰ理解できる Ⅱ無理もなく Ⅲ理解

【解答例】

>第1問：①real [形] 本当の / ②reality [名] 現実 / ③really [副] 本当に

>第2問：①successful [形] 成功した / ②successfully [副] うまく / ③success [名] 成功

>第3問：①understanding [名] 理解 / ②understandably [副] 無理もなく /

③understandable [形] 理解できる

※こちらの意味の言葉通りではなくても、それぞれ「名詞」「形容詞」「副詞」的な役割を担えるような言葉になっていればOKです。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【32日目】語尾で品詞が変わることを意識する

Q. use は「使う」という動詞で、[名詞] use (使用) [形容詞] useful (役に立つ) [副詞] usefully (有効に)と変化することを参考に、次のすべての単語に品詞と意味の組み合わせを作ります。

- ・第1問：value [動詞] 評価する
単語：①valuably ②value ③valuable
品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞
意味：Ⅰ 価値 Ⅱ 貴重な Ⅲ 貴重に
- ・第2問：wonder [動詞] 不思議に思う
単語：①wonder ②wonderful ③wonderfully
品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞
意味：Ⅰ 素晴らしい Ⅱ 素晴らしく Ⅲ 驚き
- ・第3問：protect [動詞] 保護する
単語：①protective ②protectively ③protection
品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞
意味：Ⅰ 保護するように Ⅱ 保護する Ⅲ 保護

【解答例】

- >第1問：①valuably [副] 貴重に / ②value [名] 価値 / ③valuable [形] 貴重な
>第2問：①wonder [名] 驚き / ②wonderful [形] 素晴らしい / ③wonderfully [副] 素晴らしく
>第3問：①protective [形] 保護する / ②protectively [副] 保護するように / ③protection [名] 保護
※「この言葉が後ろについていれば品詞はこれ！」みたいなものがぼんやり見えてきたでしょうか。日本語でも「っぽい」と付ければ形容詞の役割をするような感じです。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【33日目】語尾で品詞が変わることを意識する

Q. attract は「惹きつける」という動詞で、[名詞] attraction (魅力) [形容詞] attractive (魅力的な) [副詞] attractively (魅力的に)と変化することを参考に、次のすべての単語に品詞と意味の組み合わせを作ります。

- ・第1問：produce [動詞] 生産する
単語：①product ②productive ③productively
品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞
意味：Ⅰ 生産的な Ⅱ 製品 Ⅲ 生産的に
- ・第2問：originate [動詞] 始まる・生じる
単語：①originally ②original ③origin
品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞
意味：Ⅰ 起源 Ⅱ 独創的な Ⅲ 元々は
- ・第3問：impress [動詞] 感銘を与える
単語：①impression ②impressively ③impressive
品詞：ア 名詞 イ 形容詞 ウ 副詞
意味：Ⅰ 印象 Ⅱ 印象的に Ⅲ 印象的な

【解答例】

- >第1問：①product [名] 製品 / ②productive [形] 生産的な / ③productively [副] 生産的に
>第2問：①originally [副] 元々は / ②original [形] 独創的な / ③origin [名] 起源

>第3問：①impression [名] 印象 / ②impressively [副] 印象的に / ③impressive [形] 印象的な

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【34日目】語尾で品詞が変わることを意識する

Q. sense は「感じる」という動詞で、[名詞] sense (感覚) [形容詞1] sensible (分別のある) [形容詞2] sensitive (敏感な)と変化することを参考に、次のすべての単語に品詞と意味の組み合わせを作ります。

・第1問：respect [動詞] 尊敬する

単語：①respectful ②respect ③respectable

品詞：ア 名詞 イ 形容詞 イ 形容詞

意味：Ⅰ 立派な Ⅱ 礼儀正しい Ⅲ 尊敬

・第2問：imagine [動詞] 想像する

単語：①imaginable ②imaginative ③imagination

品詞：ア 名詞 イ 形容詞 イ 形容詞

意味：Ⅰ 想像力豊かな Ⅱ 想像力 Ⅲ 礼儀正しい

・第3問：consider [動詞] 熟考する

単語：①consideration ②considerable ③considerate

品詞：ア 名詞 イ 形容詞 イ 形容詞

意味：Ⅰ 考慮 Ⅱ 思いやりのある Ⅲ かなりの

【解答例】

>第1問：①respectful [形] 礼儀正しい / ②respect [名] 尊敬 / ③respectable [形] 立派な

>第2問：①imaginable [形] 想像可能な / ②imaginative [形] 想像力豊かな / ③imagination [名] 想像力

>第3問：①consideration [名] 考慮 / ②considerable [形] かなりの / ③considerate [形] 思いやりのある

※形容詞が2種類あっても語尾が「-ful」か「-tive」か「-able」かでニュアンスの違いが分かってきていれば意味の判別もできるようになっていたかもしれません。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【35日目】

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【36日目】日常で使われる可能性のあるカタカナ語：発音と綴りを意識する

Q. 次の言葉の正しい綴りを選ぶ。

1. 「ジレンマ：よくないものの板挟み」 A. dilema B. dilemma C. dillema D. dilemna
2. 「カテゴリー：区分」 A. catigory B. category C. categoly D. cattegrory
3. 「プロフェッショナル：専門的な」 A. professional B. proffesional C. proffessional D. profesional
4. 「オフィシャル：公式の」 A. oficial B. offical C. official D. oficeal
5. 「ボーダレス：境界のない」 A. boarderless B. borderless C. borderles D. boardeless

【解答例】

1. B. dilemma

※ ギリシャ語由来の di (2つの) + lemma (前提) と、2つの前提に挟まれて動けない状態です。lemma の通り m は2つ重なります。autumn (秋) や column (コラム) のように「mn」で終わる単語があるため注意が必要です。

2. B. category

※ こちらも元々はギリシャ語 kata (下に) + agora (広場・集会)。cata- となりそうですが真ん中の母音は e です。「キャテゴリ」に近い発音なので category のように i と間違えやすいです。

3. A. professional

※ pro (前で) + fess (話す・告白する) 「人前で (pro) 公言する (fess)」からなので f は1つ、s は2つです。session (会議) や mission (使命) のようにラテン語由来のものは「ss」になることが多いようです。また、proffesional のように f を重ねてしまうミスが非常に多いです。

4. C. official

※ office (役所・会社) の形容詞形。f は2つです。スペイン語などでは f が1つ (oficial) ですが、英語では ff です。また「ci」で「シャ」と発音する単語には special (特別な) や social (社会の) などがあります。

5. B. Borderless

※ border (境界) + -less (〜がない) が語源。boarder (oa) だと「下宿人」や「スノーボーダー (板に乗る人)」の意味になります。国境や境界線は or です。「order (秩序) ある border (国境)」と覚えると区別できます。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【37日目】日常で使われる可能性のあるカタカナ語：発音と綴りを意識する

Q. 次の言葉の正しい綴りを選ぶ。

1. 「ストラテジー：戦略」 A. stradegy B. startegy C. strategy D. stlategy
2. 「パフォーマンス：遂行能力・演技」 A. performance B. performence C. paformance D. performence
3. 「ニュアンス：微妙な意味合い」 A. newance B. nuanse C. nuance D. nyuance
4. 「メカニズム：仕組み」 A. mecanism B. macanism C. mechanism D. mechnism
5. 「ルーティン：日課」 A. rutine B. ruteen C. routine D. routin

【解答例】

1. C. strategy

※ ギリシャ語の strategos (将軍) が由来。発音が「d」に聞こえることがありますが、stradegy を選びたくなるかもしれませんが t です。tragedy (悲劇) と混ざらないように注意。

2. A. performance

※ per (完全に) + form (形作る) に接尾辞の -ance です。resistance (抵抗), assistance (援助) など動作を表す名詞は -ance になる傾向があります。また、真ん中にしっかりと form (フォーム・形) が入っていることを意識すると単語の書き間違いが減ります。

3. C. nuance

※ フランス語「雲 (nue)」由来の言葉です。雲のような微妙な陰影という意味。フランス語由来なので英語の発音のルール (フォニックス) にはあてはまりません。また、new (新しい) とは関係ないので newance は選ばないようにします。

4. C. mechanism

※ machine（機械）と同じ語源ですが、ch は「k」と発音します。この発音は chemistry（化学）、character（性格）、school（学校）、chaos（カオス）などにも見られます。また h を忘れて mechanism としがちなので注意です。

5. C. routine

※ route（道・ルート）が決まっていることから「決まった道（route）を通ること」＝「日課・決まりきった仕事」です。routine を選びがちですが「route：道」のスペルを意識できると間違いが減ります。「ou」で「ウー」と読む単語には soup（スープ）、group（グループ）、coupon（クーポン）などがあります。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【38日目】日常で使われる可能性のあるカタカナ語：発音と綴りを意識する

Q. 次の言葉の正しい綴りを選ぶ。

1. 「インストール：導入する」 A. instal B. instol C. install D. installl
2. 「トラウマ：心的外傷」 A. trauma B. trama C. trouma D. trauhma
3. 「バージョン：版」 A. varison B. virsion C. version D. vursion
4. 「ポリシー：方針・政策」 A. policy B. polisy C. policey D. pollicy
5. 「プライバシー：私生活・秘密」 A. privecy B. privacy C. praivacy D. pribacy

【解答例】

1. C. install

※ stall（馬小屋・区画）の in（中に）置く、という意味。all と同じく ll で終わります。ball（ボール）、call（呼ぶ）、wall（壁）、mall（複合商業施設）、small（小さい）も同じ「オール」の発音です。イギリス英語などで instal と l が1つの場合もありますが、一般的には ll が推奨されます。

2. A. trauma

※トラ（tiger）とウマ（horse）的ないじり方をされるこの言葉。由来はギリシャ語の「τραῦμα：傷」から。au のつづりで「オ」と「ア」の間のような発音です。audio（オーディオ）、auto（オート）、august（8月）、author（著者）あたりと同じです。ローマ字読み通りでもあるので綴りも分かりやすいかも。

3. C. version

※ verse（詩・韻文／回る）と同じ語根。ver- です。同じ語源を持った単語に、universe（一つになって回る＝宇宙）、reverse（逆回転する）、convert（転換する）などがあります。発音に関して、virsion という単語はありませんが vir- の部分が virgin（処女）などと混同しやすいですが、ver です。

4. A. policy

※ police（警察）や politics（政治）も同じで、古代ギリシャの都市国家 polis（ポリス：都市・市民）が由来。「市民を治めるための知恵」＝「政策・方針」という意味になります。最後は -cy は、抽象的な名詞：democracy（民主主義）、accuracy（正確さ）、urgency（緊急）などに使いがちです。polisy のように発音は s を思い起こさせますが、つづりは c です。

5. B. privacy

※ private（私的な）の名詞形。-ate が -acy に変化します。さっきの抽象的な名詞に使いがちな -cy と同じですね。発音が「プライバシー」と聞こえることがありますので privecy を選んでしまいそうですが、a です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【39日目】日常で使われる可能性のあるカタカナ語：発音と綴りを意識する

Q. 次の言葉の正しい綴りを選びなさい。

1. 「エビデンス：証拠」 A. evidence B. evidense C. evidance D. evedence
2. 「ネガティブ：否定的な」 A. negative B. negatice C. negativ D. negatve
3. 「リソース：資源」 A. resorce B. resource C. resourse D. recourse
4. 「ギャップ：隔たり」 A. gap B. gapp C. guap D. gapu
5. 「グラマー：文法」 A. grammer B. grammar C. gramer D. gramar

【解答・解説】

1. A. evidence

※ ラテン語の *videre*（見る）が語源。「外に（e）見えている（vid）もの」＝「誰の目にも明らかな証拠」。「見る（vid/vis）」を使う単語として *video*（ビデオ）、*visual*（ビジュアル）、*vision*（ビジョン）があります。最後の音「ス」の綴りは *s* ではなく *ce* を使います。

2. A. negative

※ ラテン語の *negare*（否定する）が由来で、*neglect*（無視する）、*negotiate*（交渉する＝暇ではない状態にする）など、「neg」がつく言葉は「no」のニュアンスを持ちます。語尾の接尾辞 *-tive* も「～的な」という形容詞でよく出てきます。*positive*（ポジティブ）、*active*（アクティブ）、*creative*（クリエイティブ）などです。

3. B. resource

※ *re*（再び）＋*source*（源・わき出るもの）「何度も（re）わき出てくる（source）もの」＝「資源・資産」。ちなみに、とんかつソースなどの「source」も同じ綴りです。発音が「リソース」なので、「o (resorce)」と書きたくなりますが、*source* や *course*（コース）のように、*ou* で「オー」という音を作ります。

4. A. gap

※ 北欧の言葉で「裂け目・空間」を意味する *gap*（裂け目）から。シンプルな3文字単語です。日本語で「ギャップ」と小さい「ッ」が入るため、「gapp」と *p* を重ねたくなりますが、基本形は *gap* です。同じルールの単語に、*map*（マップ：地図）、*cap*（キャップ：帽子）、*top*（トップ：頂）などがあります。

5. B. grammar

※ *gramma*（文字・書かれたもの）というギリシャ語が由来。「書くこと・文字」に関する言葉なので、*program*（プログラム）、*telegram*（電報）と同じ *gram* がベースです。最後の「ar」が実は難しく「er (grammar)」と書いてしまいがち。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【40日目】日常で使われる可能性のあるカタカナ語：発音と綴りを意識する

Q. 次の言葉の正しい綴りを選びなさい。

1. 「デフォルト：初期設定・不履行」 A. defalt B. default C. defoult D. defaulte
2. 「クオリティ：品質」 A. quality B. quarity C. qualty D. kuality
3. 「バーチャル：仮想の・実質上の」 A. vertual B. vartual C. virtual D. virtuell
4. 「ポテンシャル：潜在能力・可能性」 A. potencial B. potential C. potensial D. potential
5. 「ディテール：詳細」 A. deteil B. detail C. datail D. detale

【解答・解説】

1. B. default

※ de (強調・完全に) + fault (欠ける・失敗する) 「すべきことをしない(不履行)」という意味から、PC用語で「ユーザーが何もしない場合の標準設定」を指すようになりました。fault (失敗・欠陥) という単語がそのまま入っています。この au も「オ」と「ア」の中間音で vault (金庫・跳ぶ)、assault (攻撃・強襲) も同じ仲間です。

2. A. quality

※ qualis (どのような種類の) というラテン語由来。(どんな種類か) = 質 を問う言葉です。「質」と対を成す「量: quantity (どれくらいの大きさか)」とセットで覚えよう。この qual- の仲間に qualify (資格を与える)、qualification (資格) など、質や資格に関わる言葉があります。

3. C. virtual

※ 日本語の「バー」という音に引かれて「va」や「ve」としがちですが、発音記号は /vɜ:rtʃuəl/ で vi で始まります。語源は違いますが、vi- で発音が独特なものに「virus (ウイルス)」などがあります。

4. B. potential

※ ラテン語の potentia (力) が由来。「力 (power)」を秘めている状態のことです。potent (有力な・効能のある) という形容詞に -ial をつけるものです。「シャル」という音で t (-tial) を使う単語に essential (不可欠な)、confidential (機密の)、partial (部分的な) などがあります。

5. B. detail

※ de (完全に) + tailler (切る) 「細かく切り分けたもの」から。という意味です。tailler (切る) は、服の仕立て屋 tailor (テイラー) も「布を切る人」という同じ語源で使われます。ai で「エイ」と発音する単語には rain (雨)、mail (手紙)、tail (しっぽ) などがあります。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【41日目】日常で使われる可能性のあるカタカナ語：発音と綴りを意識する

Q. 次の言葉の正しい綴りを選ぶ。

1. 「ストラテジー：戦略」 A. stradegey B. startegy C. strategy D. stlategy
2. 「パフォーマンス：遂行能力・演技」 A. performance B. performence C. paformance D. performance
3. 「ニュアンス：微妙な意味合い」 A. newance B. nuanse C. nuance D. nyuance
4. 「メカニズム：仕組み」 A. mecanism B. macanism C. mechanism D. mechnism
5. 「ルーティン：日課」 A. rutine B. ruteen C. routine D. routin

【解答例】

1. C. strategy

※ ギリシャ語の strategos (将軍) が由来。発音が「d」に聞こえることがありますが、stradegeyを選びたくなるかもしれませんが t です。tragedy (悲劇) と混ざらないように注意。最後の「ジー」(gy) はギリシャ語由来の学問や性質を表す言葉によく使われ、energy (エネルギー)、allergy (アレルギー)、technology (テクノロジー・科学技術) などがあります。

2. A. performance

※ per (完全に) + form (形作る)。接尾辞は -ance です。performence: -ence ではなく -ance です。カタカナ読みの通りなので -ance を選べたと思います。接尾辞 -ance は動作を表す言葉に多く、guidance (ガイダンス・指導)、acceptance (受諾)、distance (距離) などがあります。

3. C. nuance

※ フランス語由来の言葉です。「雲 (nue)」のような微妙な陰影という意味。new (新しい) とは関係ないので newance は選ばないようにします。英語でも u だけで「ウー (ユー)」と読む単語には nuclear (原子力の)、nutrition (栄養)、numeral (数字の) などがあります。

4. C. mechanism

※ machine (機械) と同じ語源ですが、ch は「k」と発音します。また h を忘れて mecanism としがちです。ギリシャ語由来の言葉は ch で k と読むことが多いです。(school (学校)、chemical (化学の)、character (性格・キャラクター)、stomach (胃)、chaos (カオス、混沌) などいろいろあります。

5. C. routine

※ route (道・ルート) が決まっていること、から来ています。rutine を選びがちですが「route : 道」のスペルを意識できると間違いが減ります。「ou」で「ウー」と伸ばす音になる単語に soup (スープ)、group (グループ)、coupon (クーポン) などがあります。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける 【42日目】

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける 【43日目】 同じ語源で意味の振れ幅を感じる

Q. 次の語源が同じ単語を、語源を手掛かりに正しい意味のペアを選ぶ。

1. awful / awesome 語源 : awe (畏敬・恐れ)

- A. 気まずい / 離れた
- B. ひどい・恐ろしい / 素晴らしい・最高
- C. 秋の / 目覚めた
- D. 合法的な / 全部の

2. terrible / terrific 語源 : terror (恐怖)

- A. 領土の / 交通の
- B. ひどい / 素晴らしい
- C. 終わりの / 専門的な
- D. 輝く / 典型的な

3. famous / infamous 語源 : fama (評判・噂)

- A. 有名な / 悪名高い
- B. 飢えた / 幼児の
- C. 家族の / 燃えやすい
- D. 公正な / 非公式な

【解答例】

1. B awful (ひどい) / awesome (素晴らしい)

・「畏敬」が恐怖 (ひどい) へ向かったのが awful、感動 (最高) へ向かったのが awesome です。A は awkward (気まずい) / away (離れた)、C は autumn (秋) / awake (目覚めた)、D は lawful (合法的な) / all (全部)

2. B terrible (ひどい) / terrific (素晴らしい)

・terrific は「恐ろしい」→「ものすごい」→「最高」とポジティブ化しました。A は territory (領土) / traffic (交通)、C は terminal (終わりの・末期の) / technical (専門的な)、D は twinkle (輝く) / typical (典型的な)

3. A famous (有名な) / infamous (悪名高い)

・infamous は「名声がない」ではなく「悪評がある」という意味で定着しました。接頭辞 in- が否定ではなく「悪い方向への強調」として機能したケースです。Bは famished (飢えた) / infant (幼児)、Cは family (家族) / inflammable (燃えやすい)、Dは fair (公正な) / informal (非公式な)

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【44日目】同じ語源で意味の振れ幅を感じる

Q.次の語源が同じ単語を、語源を手掛かりに正しい意味のペアを選ぶ。

1. notable / notorious 語源：notare (記す・知る)

- A. ノートの / 夜行性の
- B. できない / 北の
- C. 注目すべき / 悪名高い
- D. 何もない / 栄養のある

2. egregious / gregarious 語源：grex (群れ)

- A. 攻撃的な / 豪華な
- B. 言語道断な / 社交的な
- C. 以前の / 緑の
- D. 同意する / 感謝する

3. host / hostile 語源：hostis (異邦人)

- A. 暑い / 病院の
- B. チューブ / 人質の
- C. g幽霊 / スタイルの
- D. 主人 / 敵対的な

【解答例】

1. C notable (注目すべき) / notorious (悪名高い)

・どちらも「知られている」ことですが、後者はネガティブな内容限定です。notoriousは犯罪やスキャンダルなどで「知られている」場合に使われます。Aは notebook (ノート) / nocturnal (夜行性の)、Bは not able (できない) / north (北)、Dは nothing (何もない) / nutritious (栄養のある)

2. B egregious (言語道断な・ひどい) / gregarious (社交的な)

・片方は「群れから(悪い意味で)抜け出た」、片方は「群れを好む」という意味です。egregiousは元々「卓越した」という良い意味でしたが、皮肉として使われるうちに「とんでもなくひどい」という意味になりました。Aは aggressive (攻撃的な) / gorgeous (豪華な)、Cは previous (以前の) / green (緑)、Dは agree (同意する) / grateful (感謝する)

3. D host (主人) / hostile (敵対的な)

・外から来た人を迎え入れるか、敵とみなすかで意味が分かります。guest (客) も同じ語源から派生しています。「見知らぬ人」をどう扱うかで言葉が変わりました。Aは hot (暑い) / hospital (病院)、Bは hose (ホース) / hostage (人質)、Cは ghost (幽霊) / style (スタイル)

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【45日目】同じ語源で意味の振れ幅を感じる

Q.次の語源が同じ単語を、語源を手掛かりに正しい意味のペアを選ぶ。

1. tradition / traitor 語源：tradere (手渡す・引き渡す)

- A. 貿易 / トラクター
 - B. 伝統 / 裏切り者
 - C. 翻訳 / トレーナー
 - D. 交通 / ゴミ
2. human / humane 語源：humanus (人間)
- A. ユーモア / たてがみ
 - B. 湿った / おかしい
 - C. 人間の / 人道的な
 - D. 謙虚な / ハンマー
3. credible / credulous 語源：credere (信じる)
- A. 重要な / 揺りかごの
 - B. クレジットの / 残酷な
 - C. 信用できる / 騙されやすい
 - D. 信じられない / 犯罪の

【解答例】

1. B tradition (伝統) / traitor (裏切り者)
- ・「何を」「誰に」渡すかで、尊い行為にも裏切り行為にもなります。文化を後世に「引き渡す」のが tradition、情報を敵に「引き渡す」のが traitor です。Aは trade (貿易) / tractor (トラクター)、Cは translation (翻訳) / trainer (トレーナー)、Dは traffic (交通) / trash (ゴミ)
2. C human (人間の) / humane (人道的な)
- ・生物としての「人間」と、人間が持つべき「人道的な心」です。「Human Rights (人権)」と「Humane Treatment (人道的な扱い)」の違いです。
 - Aは humor (ユーモア) / mane (たてがみ)
 - Bは humid (湿った) / funny (おかしい) ※humorousの連想
 - Dは humble (謙虚な) / hammer (ハンマー)
3. C credible (信用できる) / credulous (騙されやすい・軽信な)
- ・「信じられる対象」なのか「信じてしまう性格」なのかの違いです。credible evidence (信用できる証拠) のように使い、credulous は人を形容して「すぐ信じ込む」というネガティブな意味を含みます。Aは critical (重要な・批判的な) / cradle (揺りかご)、Bは credit (信用・クレジット) / cruel (残酷な)、Dは incredible (信じられない) / criminal (犯罪の)

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【46日目】同じ語源で意味の振れ幅を感じる

Q. 次の語源が同じ単語を、語源を手掛かりに正しい意味のペアを選ぶ。

1. captive / captivate 語源：capere (捕らえる)
- A. 船長の / 首都の
 - B. 見出しの / 能力のある
 - C. 捕虜 / 魅了する
 - D. 帽子の / 洞窟の
2. respect / suspect 語源：specere (見る)
- A. 休息 / 吊るす
 - B. 尊敬する / 疑う
 - C. 検査する / 成功する
 - D. 局面 / 見込み
3. visionary / visible 語源：visio (見る)
- A. 訪問の / バイザー、日よけ

- B. バイオリンの / 実行可能な
- C. 先見の明がある / 目に見える
- D. 悪意のある / 犠牲者

【解答例】

1. C captive (捕虜) / captivate (魅了する)
・体を捕らえられると「捕虜」、心を捕らえられると.....? どちらも「キャッチ (catch)」する語源ですが、物理的か心理的かで分かれました。Aは captain (船長) / capital (首都)、Bは caption (見出し) / capable (能力のある)、Dは cap (帽子) / cave (洞窟)
2. B respect (尊敬する) / suspect (疑う)
・「振り返って二度見る」のと「下から探るように見る」の違いです。re- (再び) 見るほど立派なのがrespect、su- (下から) 見るのがsuspect (怪しい) です。Aは respite (休息) / suspend (吊るす)、Cは inspect (検査する) / succeed (成功する)、Dは aspect (局面) / prospect (見込み)
3. C visionary (先見の明がある) / visible (目に見える)
・未来のビジョン (理想) を見る人と、物理的に目に見えるものの違いです。社会の未来を見るスティーブ・ジョブズのような人は経営者はvisionary、肉眼で見える物はvisibleです。Aは visit (訪問) / visor (バイザー)、Bは violin (バイオリン) / viable (実行可能な)、Dは vicious (悪意のある) / victim (犠牲者)

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【47日目】 同じ語源で意味の振れ幅を感じる

Q. 次の語源が同じ単語を、語源を手掛かりに正しい意味のペアを選ぶ。

1. apprehend / comprehend 語源: prehendere (掴む)
A. 現れる / 比較する
B. 訴える / 妥協する
C. 逮捕する / 理解する
D. 近づく / 圧縮する
2. warden / guardian 語源: guard/ward (守る)
A. 戦争 / 庭
B. 刑務所長 / 保護者
C. 警告する / 案内人
D. 放浪する / 神
3. glamour / grammar 語源: grammaire (学問・記述)
A. 魅力 / 文法
B. 微かな光 / おばあちゃん
C. 手袋 / 穀物
D. ガラス / グラム

【解答例】

1. C apprehend (逮捕する・懸念する) / comprehend (理解する)
・犯人や不安を「掴む」のと情報の全体像を「掴む」ことの違いです。物理的に捕まえる (逮捕) のがapprehend、頭で包括的に掴むのがcomprehendです。Aは appear (現れる) / compare (比較する)、Bは appeal (訴える) / compromise (妥協する)、Dは approach (近づく) / compress (圧縮する)
2. B warden (刑務所長・監視員) / guardian (保護者)

・語源は同じですが、英語に入ってきたルートが異なり、「閉じ込めて守る」か「寄り添って守る」か分岐しました。w-で始まる語は本来の英語（ゲルマン系）、gu-で始まる語はフランス語経由が多いです。Aは war (戦争) / garden (庭)、Cは warn (警告する) / guide (案内人)、Dは wander (放浪する) / god (神)

3. A glamour (魅力・色気) / grammar (文法)

・中世ヨーロッパでは、一般人が読めない「文法書」は魔法の知識と同一視されていました。「魔法 (grammar)」がスコットランド訛りでglamourとなり、「人を惑わす魅力」という意味になりました。Bは glimmer (微かな光) / grandma (おばあちゃん)、Cは glove (手袋) / grain (穀物)、Dは glass (ガラス) / gram (グラム)

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【48日目】同じ語源で意味の振れ幅を感じる

Q. 次の語源が同じ単語を、語源を手掛かりに正しい意味のペアを選ぶ。

1. potion / poison 語源：potare (飲む)

A. 部分 / 刑務所

B. 位置 / 人

C. 薬 / 毒

D. 鍋 / 所有する

2. genre / gender 語源：genus (種・種類)

A. 一般的な / 優しい

B. 遺伝子 / 生姜

C. 世代 / 寛大な

D. ジャンル / 性別

3. urban / urbane 語源：urbs (都市)

A. 軌道の / 禁止

B. 都会の / 洗練された

C. 緊急の / 豆

D. 臓器 / 骨

【解答例】

1. C potion (薬・毒薬) / poison (毒)

・元々は単に「飲むもの」でしたが、魔法の薬と、致死性の毒へと意味が分かれました。「Love Potion (惚れ薬)」のように使いますが、一歩間違えばPoison (毒) になります。Aは portion (部分) / prison (刑務所)、Bは position (位置) / person (人)、Dは pot (鍋) / possess (所有する)

2. D genre (ジャンル) / gender (性別)

・芸術のカテゴリーを指すか、文法的・生物学的な性別を指すかの違いです。どちらもフランス語を経由して「種類」という意味から派生しました。Aは general (一般的な) / gentle (優しい)、Bは gene (遺伝子) / ginger (生姜)、Cは generation (世代) / generous (寛大な)

3. B urban (都会の) / urbane (洗練された)

・「都会の」という場所を示す言葉にeがつくと、都会人の「洗練された」態度を表すようになります。human / humane と同じく、eがつくことで抽象的な「性質・美德」を表す意味に変化しました。Aは orbit (軌道) / ban (禁止)、Cは urgent (緊急の) / bean (豆) ※urbane の語尾音との引っかけ、Dは organ (臓器) / bone (骨)

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【49日目】

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【50日目】 同じ単語で意味の幅を感じる

Q. 次の空欄に共通して当てはまる単語を選択肢から選ぶ。

1. ()work, bon(), ()fly
A) sun
B) fire
C) water
D) star
2. ()melon, ()fall, under()
A) rain
B) river
C) water
D) sky
3. ()flower, ()set, ()glasses
A) moon
B) day
C) eye
D) sun
4. ()shake, ()bag, left-()ed
A) hand
B) arm
C) foot
D) head
5. ()berry, ()print, ()tooth
A) red
B) black
C) blue
D) white

【解答例】

1. B) fire

- ・ fireworks (花火): fire (火) + works (仕掛け・作品)。火の芸術作品です。
- ・ bonfire (焚き火): bon (骨) + fire (火) が語源と言われますが、現在ではキャンプファイヤーなどの楽しい火を指します。
- ・ firefly (蛍): fire (火) + fly (ハエ・飛ぶ虫)。お尻が光る虫のことです。

2. C) water

- ・ watermelon (スイカ): water (水) をたっぷり含んだ melon (ウリ) です。
- ・ waterfall (滝): water (水) が fall (落ちる) 場所です。
- ・ underwater (水中の): under (～の下) + water (水)。水面下の世界です。

3. D) sun

- ・ sunflower (ひまわり: 向日葵): 太陽 (sun) に向かって咲く花 (flower) です。
- ・ sunset (日没・夕焼け): 太陽 (sun) が沈む (set) ことです。
- ・ sunglasses (サングラス): 太陽 (sun) の光から目を守るメガネ (glasses) です。

4. A) hand

- handshake (握手): 手 (hand) を握って振る (shake) 挨拶です。
- handbag (ハンドバッグ): 手 (hand) で持つカバン (bag) です。
- left-handed (左利きの): 左手 (left-hand) を使う性質を持った (-ed) 人です。

5. C) blue

- blueberry (ブルーベリー): 青い (blue) ベリー (berry) です。
- blueprint (青写真・設計図): 昔のコピー技術で、線が青く (blue) 印刷 (print) されたことから。
- bluetooth (ブルートゥース): ノルウェーとデンマークを統合した王様のあだ名「青歯王」にちなみ、規格を統合する技術として名付けられました。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【51日目】同じ単語で意味の幅を感じる

Q. 次の空欄に共通して当てはまる単語を選択肢から選ぶ。

1. ()man, ()flake, ()ball

- A) ice
- B) snow
- C) rain
- D) hail

2. ()bow, ()coat, ()drop

- A) rain
- B) snow
- C) sun
- D) cloud

3. ()pot, ()spoon, ()cup

- A) coffee
- B) soup
- C) tea
- D) milk

4. ()paste, ()ache, ()brush

- A) mouth
- B) gum
- C) face
- D) tooth

5. ()board, ()hole, ()word

- A) pass
- B) key
- C) lock
- D) black

【解答例】

1. B) snow

- snowman (雪だるま): 雪 (snow) で作った人 (man) です。
- snowflake (雪の結晶): 雪 (snow) の薄片 (flake) です。コーンフレークのフレークと同じです。
- snowball (雪玉): 雪 (snow) で作ったボール (ball) です。

2. A) rain

- rainbow (虹): 雨 (rain) 上がりに見える弓 (bow) の形をしたものです。

• raincoat (レインコート): 雨 (rain) の日に着るコート (coat) です。

• raindrop (雨粒): 雨 (rain) の雫 (drop) です。

3. C) tea

• teapot (ティーポット): 茶 (tea) を入れるポット (pot) です。

• teaspoon (ティースプーン): 茶 (tea) をかき混ぜるための小さなスプーン (spoon) です。

• teacup (ティーカップ): 茶 (tea) を飲むためのカップ (cup) です。

4. D) tooth

• toothpaste (歯磨き粉): 歯 (tooth) のための練り薬・ペースト (paste) です。

• toothache (歯痛): 歯 (tooth) の痛み (ache) です。Headache (頭痛) と同じ作りです。

• toothbrush (歯ブラシ): 歯 (tooth) を磨くブラシ (brush) です。

5. B) key

• keyboard (キーボード): 鍵盤 (key) が並んだ板 (board) です。

• keyhole (鍵穴): 鍵 (key) を差し込む穴 (hole) です。

• keyword (キーワード): 問題解決の鍵 (key) となる言葉 (word) です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【52日目】同じ単語で意味の幅を感じる

Q. 次の空欄に共通して当てはまる単語を選択肢から選ぶ。

1. ()book, ()pad, foot()

A) print

B) mark

C) note

D) step

2. ()table, life(), over()

A) time

B) work

C) day

D) line

3. ()dream, birth(), holi()

A) night

B) time

C) day

D) life

4. ()ache, ()line, fore()

A) eye

B) head

C) back

D) front

5. ()pack, ()ground, feed()

A) back

B) front

C) side

D) hand

【解答例】

1. C) note

- notebook (ノート): メモ (note) するための本 (book) です。
- notepad (メモ帳): メモ (note) するための紙の束 (pad) です。
- footnote (脚注): ページの足元 (foot=下部) につける注釈 (note) です。

2. A) time

- timetable (時刻表): 時間 (time) の表 (table) です。
- lifetime (一生・生涯): 生きている (life) 時間 (time) です。
- overtime (残業・延長戦): 規定の時間 (time) を超えて (over) 行うことです。

3. C) day

- daydream (白昼夢): 昼間 (day) に見る夢 (dream) = 空想です。
- birthday (誕生日): 生まれた (birth) 日 (day) です。
- holiday (休日): 元々は聖なる (holy) 日 (day) = 宗教的な祝日から来ています。

4. B) head

- headache (頭痛): 頭 (head) の痛み (ache) です。
- headline (見出し): 記事の頭 (head) にある行 (line) です。
- forehead (額): 頭 (head) の前側 (fore) の部分です。

5. A) back

- backpack (リュックサック): 背中 (back) に背負う荷物袋 (pack) です。
- background (背景・経歴): 後ろ (back) にある地面・景色 (ground) です。
- feedback (フィードバック): 出力された結果を入力元 (背後) へ戻して (feed back) 調整することから。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【53日目】同じ単語で意味の幅を感じる

Q. 次の空欄に共通して当てはまる単語を選択肢から選ぶ。

1. ()food, ()shell, over()s

A) ocean

B) beach

C) river

D) sea

2. ()port, ()plane, ()mail

A) sky

B) jet

C) air

D) fly

3. ()style, ()guard, wild()

A) fire

B) life

C) safe

D) wood

4. ()work, ()town, ()sick

A) house

B) city

C) home

D) room

5. ()ground, ()stand, ()wear

A) over

B) under

- C) back
D) fore

【解答例】

1. D) sea

- seafood (魚介類): 海 (sea) の食べ物 (food) です。
- seashell (貝殻): 海 (sea) の殻 (shell) です。
- overseas (海外の): 海 (sea) を越えて (over) 行くことです。

2. C) air

- airport (空港): 空 (air) の港 (port) です。
- airplane (飛行機): 空 (air) を飛ぶ平面翼 (plane) を持つ乗り物です。
- airmail (航空便): 空 (air) 輸される郵便 (mail) です。

3. B) life

- lifestyle (生活様式): 人生・生活 (life) の流儀 (style) です。
- lifeguard (ライフガード): 命 (life) を守る (guard) 人です。
- wildlife (野生生物): 野生 (wild) の生命 (life) です。

4. C) home

- homework (宿題): 家 (home) でやる勉強 (work) です。
- hometown (故郷): 自分の家 (home) がある町 (town) です。
- homesick (ホームシック): 家 (home) を恋しく思う病気 (sick) のような状態です。

5. B) under

- underground (地下): 地面 (ground) の下 (under) です。
- understand (理解する): 物事の下 (under) に立つ (stand) = 根本から支える・分かると言われています。
- underwear (下着): 服の下 (under) に着るもの (wear) です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【54日目】 同じ単語で意味の幅を感じる

Q. 次の空欄に共通して当てはまる単語を選択肢から選ぶ。

1. ()side, ()look, with()

- A) in
B) out
C) up
D) down

2. ()word, ()road, ()walk

- A) side
B) back
C) cross
D) pass

3. ()mother, ()piano, ()child

- A) big
B) great
C) grand
D) step

4. ()paper, ()caster, ()letter

- A) news
B) note

C) post

D) text

5. ()card, ()office, ()man

A) mail

B) post

C) letter

D) send

【解答例】

1. B) out

- outside (外側): 外 (out) の側 (side) です。
- outlook (見通し): 外 (out) を見る (look) こと＝展望です。
- without (～なしで): with (～と共に) + out (外へ) = ～を外して＝～なしで、という成り立ちです。

2. C) cross

- crossword (クロスワード): 言葉 (word) が交差 (cross) するパズルです。
- crossroad (交差点): 道 (road) が交差 (cross) する場所です。
- crosswalk (横断歩道): 道路を横切って (cross) 歩く (walk) 場所です。

3. C) grand

- grandmother (祖母): 親より一親等大きい (grand) 母 (mother) です。
- grandpiano (グランドピアノ): 壮大な (grand) ピアノです。
- grandchild (孫): 子供より一親等離れた (grand) 子供 (child) です。

4. A) news

- newspaper (新聞): ニュース (news) を載せた紙 (paper) です。
- newscaster (キャスター): ニュース (news) を投げる (cast＝放送する) 人です。
- newsletter (会報): ニュース (news) を伝える手紙 (letter) です。

5. B) post

- postcard (ハガキ): 郵便 (post) で送るカード (card) です。
- postoffice (郵便局): 郵便 (post) を扱う役所・事務所 (office) です。
- postman (郵便配達員): 郵便 (post) を届ける人 (man) です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【55日目】同じ単語で意味の幅を感じる

Q. 次の空欄に共通して当てはまる単語を選択肢から選ぶ。

1. ()market, ()man, ()natural

A) hyper

B) ultra

C) super

D) power

2. ()fish, ()light, super()

A) moon

B) sun

C) sky

D) star

3. ()light, honey(), ()walk

A) star

B) sun

C) night

D) moon

4. ()port, ()word, com()

A) pass

B) cross

C) key

D) way

5. ()ware, ()ball, micro()

A) hard

B) soft

C) net

D) game

【解答例】

1. C) super

- ・supermarket (スーパーマーケット): 普通の市場を超えた (super) 市場 (market) です。
- ・superman (スーパーマン): 人間を超越した (super) 人 (man) です。
- ・supernatural (超自然的な): 自然の理を超えた (super) もの (natural) です。

2. D) star

- ・starfish (ヒトデ): 星 (star) の形をした魚 (fish ※生物学的には魚ではありませんが) です。
- ・starlight (星明かり): 星 (star) の光 (light) です。
- ・superstar (大スター): スターの中でもさらに超越した (super) スターです。

3. D) moon

- ・moonlight (月光): 月 (moon) の光 (light) です。
- ・honeymoon (ハネムーン): 蜂蜜 (honey) のように甘い期間 (moon=月・一ヶ月) という意味です。
- ・moonwalk (ムーンウォーク): 月面 (moon) を歩く (walk) ように見せるダンスです。

4. A) pass

- ・passport (パスポート): 港 (port) を通過 (pass) するための許可証です。
- ・password (パスワード): 通過 (pass) するための合言葉 (word) です。
- ・compass (羅針盤): com (共に) + pass (歩幅を合わせる・測る) が語源です。円を描くコンパスも同じ語源です。

5. B) soft

- ・software (ソフトウェア): 形のない柔らかい (soft) 製品 (ware) = プログラムのことです。対義語は hardware。
- ・softball (ソフトボール): 野球より柔らかい (soft) ボール (ball) を使う競技です。
- ・microsoft (マイクロソフト): マイクロコンピュータ (micro) のソフトウェア (soft) を作る会社です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【56日目】

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【57日目】 英語も日本語も同じ単語を使う定型句・慣用句

Q：次の英語の表現に当てはまる日本語とその意味をそれぞれ1つずつ選ぶ。

1. Lend a hand
2. Wash one's hands of
3. Walls have ears
4. Dig one's own grave
5. Read between the lines

(日本語群)

- ①手を貸す
- ②壁に耳あり
- ③行間を読む
- ④墓穴を掘る
- ⑤手を洗う

(意味群)

- A. 密談は漏れやすい。
- B. 書かれていない真意や隠れた意味を汲み取る。
- C. 手伝う、助ける。
- D. 関係を断つ、責任を放棄する。
- E. 自ら破滅の原因を作る。

【解答例】

1. ①－C
2. ⑤－D ※日本語の「足を洗う（悪事から抜ける）」とは少しニュアンスが異なりますが、英語の聖書由来の表現として「関わりを断つ」という意味で使われます。
3. ②－A ※続きは英語では "doors have eyes"、日本語では「障子に目あり」となります。
4. ④－E
5. ③－B

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【58日目】英語も日本語も同じ単語を使う定型句・慣用句

Q：次の英語の表現に当てはまる日本語とその意味をそれぞれ1つずつ選ぶ。

1. Kill two birds with one stone
2. Cast pearls before swine
3. Crocodile tears
4. Tip of the iceberg
5. Strike while the iron is hot

(日本語群)

- ①豚に真珠
- ②一石二鳥
- ③鉄は熱いうちに打て
- ④氷山の一角
- ⑤ワニの涙

(意味群)

- A. 好機は逃さずすぐに行動すべきだ。
- B. 見えている問題は全体のごく一部にすぎない。
- C. 噓泣き。偽善的な悲しみ。
- D. 一つの行為で二つの利益を得る。
- E. 価値の分からない者に貴重なものを与えても無駄である。

【解答例】

- 1. ②－D ※元は英語のことわざで、明治時代に四字熟語として翻訳されました。
- 2. ①－E ※聖書由来の言葉です。
- 3. ⑤－C ※獲物を食べる時に涙を流すという伝説から来ています。
- 4. ④－B
- 5. ③－A

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【59日目】英語も日本語も同じ単語を使う定型句・慣用句

Q：次の英語の表現に当てはまる日本語とその意味をそれぞれ1つずつ選ぶ。

- 1. Time is money
- 2. History repeats itself
- 3. Rome was not built in a day
- 4. All roads lead to Rome
- 5. Silence is golden

(日本語群)

- ①すべての道はローマに通ず
- ②沈黙は金
- ③歴史は繰り返す
- ④ローマは一日にして成らず
- ⑤時は金なり

(意味群)

- A. 雄弁であるより、黙っている方が価値がある。
- B. 方法は違っても、目的や行き着く先は同じである。
- C. 大事業は短期間では完成しない。
- D. 時間は貴重なものだから浪費してはいけない。
- E. 過去に起きたことは、形を変えて再び起こる。

【解答例】

- 1. ⑤－D
- 2. ③－E
- 3. ④－C
- 4. ①－B
- 5. ②－A ※「雄弁は銀、沈黙は金」という格言の一部です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【60日目】英語も日本語も同じ単語を使う定型句・慣用句

Q：次の英語の表現に当てはまる日本語とその意味をそれぞれ1つずつ選ぶ。

1. Love is blind
2. Sixth sense
3. Cold blood / Cold-blooded
4. Broken heart
5. Golden age

(日本語群)

- ①黄金時代
- ②恋は盲目
- ③ハートブレイク (傷心・失恋)
- ④冷血 (な)
- ⑤第六感

(意味群)

- A. 五感 (視・聴・嗅・味・触) を超えた直感。
- B. 全盛期、最も繁栄した時期。
- C. 冷酷な、感情を持たない。
- D. 恋をすると理性を失い、相手の欠点が見えなくなる。
- E. 失恋や深い悲しみ。

【解答例】

1. ②－D
2. ⑤－A
3. ④－C
4. ③－E ※日本語でも直訳の「心臓が壊れる」ではなく、カタカナや意識で定着しています。
5. ①－B

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【61日目】英語も日本語も同じ単語を使う定型句・慣用句

Q: 次の英語の表現に当てはまる日本語とその意味をそれぞれ1つずつ選ぶ。

1. Money talks
2. Failure is the mother of success
3. Vicious circle
4. Safety net
5. Milestone

(日本語群)

- ①セーフティネット (安全網)
- ②失敗は成功の母
- ③悪循環
- ④マイルストーン (道しるべ)
- ⑤金が物を言う

(意味群)

- A. 失敗は成功するために必要な過程である。
- B. 歴史や人生、プロジェクトの重要な節目・画期的な出来事。

- C. 悪い状態が原因となって、さらに悪い結果を生むこと。
- D. 結局は金のある者が力を持つ。
- E. 失敗した時のための保護策。

【解答例】

- 1. ⑤－D
- 2. ②－A
- 3. ③－C ※Vicious＝悪意のある、Circle＝円・循環 という意味です。
- 4. ①－E
- 5. ④－B

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【62日目】英語も日本語も同じ単語を使う定型句・慣用句

Q：次の英語の表現に当てはまる日本語とその意味をそれぞれ1つずつ選ぶ。

- 1. Play with fire
- 2. Burn one's bridges (boats)
- 3. Open the door (to)
- 4. Chain reaction
- 5. Big mouth

(日本語群)

- ①ビッグマウス（大口を叩く）
- ②連鎖反応
- ③門戸を開く
- ④火遊び（をする）
- ⑤背水の陣（橋を焼く）

(意味群)

- A. 危険なことに手を出す。
- B. 自慢話をする、ほら吹き。
- C. ある出来事がきっかけで次々と関連した出来事が起こる。
- D. 機会を与える、受け入れる体制を作る。
- E. 後戻りできないようにする。

【解答例】

- 1. ④－A ※浮気などを指す場合も含めて日英で似ています。
- 2. ⑤－E ※日本語の「背水の陣」は川を背にする中国の故事ですが、英語では「橋を焼く」と言います。
- 3. ③－D
- 4. ②－C
- 5. ①－B ※英語の "Big mouth" は「口が軽い（秘密を漏らす）」という意味もありますが、「大口を叩く」という意味でも共通しています。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【63日目】

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【64日目】似た音で違う意味の単語を探る

Q：次の似た音の単語を使った文を参考に、語群の単語の意味をそれぞれ選ぶ。

- ・ It takes one hour to get to our house. (私たちの家に着くのに1時間かかります。)
- ・ Can you hear the music from here? (ここから音楽が聞こえますか?)
- ・ The brave knight rode through the night. (勇敢な騎士は夜通し馬を走らせました。)
- ・ We need flour to bake a flower-shaped cookie. (花の形のクッキーを焼くために小麦粉が必要です。)
- ・ Be careful not to break the car's brake. (車のブレーキを壊さないように気をつけて。)

(語群)

1. hour 2. our 3. hear 4. here 5. knight 6. night 7. flour 8. flower 9. break 10. brake

(意味)

①騎士 ②聞こえる ③1時間 ④ここ ⑤ブレーキ ⑥花 ⑦小麦粉 ⑧壊す ⑨私たちの ⑩夜

【解答・解説】

1. ③ / 2. ⑨

※hour (時間) / our (私たちの) ・発音は全く同じですが、時間を表す方は hour と h がつきます (発音しない h)。

3. ② / 4. ④

※hear (聞こえる) / here (ここ) ・"hear" (聞く) という綴りの中には "ear" (耳) が入っている、と覚えると区別しやすいです。

5. ① / 6. ⑩

※knight (騎士) / night (夜) ・騎士 (knight) には発音しない k がつきます。夜 (night) にはつきません。

7. ⑦ / 8. ⑥

※flour (小麦粉) / flower (花) ・植物の花は flower、粉 (小麦粉) は flour です。

9. ⑧ / 10. ⑤

※break (壊す・休憩) / brake (ブレーキ) ・車を止めるブレーキは brake です。「休憩する (take a break)」の break と「壊す」は同じ綴りです。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【65日目】似た音で違う意味の単語を探る

Q：次の似た音の単語を使った文を参考に、語群の単語の意味をそれぞれ選ぶ。

- ・ I bought a pair of fresh pears. (新鮮な洋ナシを2つ (一組) 買いました。)
- ・ I found a white hare's hair on my coat. (コートに白い野ウサギの毛がついているのを見つけました。)
- ・ I felt very weak all of last week. (先週はずっと体がだるかった (弱っていた)。)
- ・ That male postman delivered the mail. (その男性の郵便配達員が郵便を届けました。)
- ・ He told a fairy tale about a dragon with a long tail. (彼は長いしっぽを持つドラゴンの童話を話しました。)

(語群)

1. pair 2. pear 3. hare 4. hair 5. weak 6. week 7. male 8. mail 9. tale 10. tail

(意味)

①髪・毛 ②週 ③洋ナシ ④しっぽ ⑤郵便 ⑥一組・ペア ⑦物語 ⑧弱い ⑨野ウサギ ⑩男性・オス

【解答・解説】

1. ⑥ / 2. ③

※pair (一組) / pear (洋ナシ) ・果物のナシは "ear" (耳) と同じ綴りが含まれる pear です。

3. ⑨ / 4. ①

※hare (野ウサギ) / hair (髪) ・髪の毛は air (空気) と同じ綴りが含まれる hair です。

5. ⑧ / 6. ②

※weak (弱い) / week (週) ・週末 (weekend) の week です。体が弱いほうは weak です。

7. ⑩ / 8. ⑤

※male (男性) / mail (郵便) ・Email (Eメール) の mail です。男性は female (女性) と対になる male です。

9. ⑦ / 10. ④

※tale (物語) / tail (しっぽ) ・しっぽ (tail) は mail や nail (爪) と同じ韻と綴りを持ちます。物語は tale です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【66日目】似た音で違う意味の単語を探る

Q：次の似た音の単語を使った文を参考に、語群の単語の意味をそれぞれ選ぶ。

・ There is a deep hole in the whole section of the street. (通りの区画全体の中に、深い穴が一つあります。)

・ I knew he bought a new car. (彼が新車を買ったことは知っていました。)

・ The bear stood on the bare ground. (クマがむき出しの地面の上に立っていました。)

・ I was bored during the meeting with the board members. (委員会のメンバーとの会議中、私は退屈していました。)

・ Our team won one important game. (私たちのチームは1つの重要な試合に勝ちました。)

(語群)

1. hole 2. whole 3. knew 4. new 5. bear 6. bare 7. bored 8. board 9. won 10. one

(意味)

①新しい ②板・委員会 ③全体の ④勝った ⑤裸の・むき出しの ⑥穴 ⑦知っていた ⑧退屈した ⑨1つ ⑩クマ

【解答・解説】

1. ⑥ / 2. ③

※hole (穴) / whole (全体の) ・「全体の」には発音しない w がつきます (whole) 。

3. ⑦ / 4. ①

※knew (知っていた) / new (新しい) ・ know (知る) の過去形なので k がつきます (knew)。

5. ⑩ / 6. ⑤

※bear (クマ) / bare (裸の) ・ 動物のクマは pear (洋ナシ) や wear (着る) と同じ綴りパターンです。

7. ⑧ / 8. ②

※bored (退屈した) / board (板・委員会) ・ 黒板 (blackboard) の board です。退屈 (boring) は bored です。

9. ④ / 10. ⑨

※won (勝った) / one (1) ・ win の過去形が won です。数字の1は one です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【67日目】似た音で違う意味の単語を探る

Q：次の似た音の単語を使った文を参考に、語群の単語の意味をそれぞれ選ぶ。

・ She wants to dye her hair before the flowers die. (彼女は花が枯れる前に髪を染めたがっています。)

・ Thieves tried to steal the steel pipes. (泥棒たちは鋼鉄のパイプを盗もうとしました。)

・ We will sail across the bay to get to the big sale. (私たちは大セールに行くために、湾を航海して渡ります。)

・ Oh dear, look at that cute deer! (おやまあ、あの可愛い鹿を見て！)

・ It is not fair to charge such a high fare. (そんなに高い運賃を請求するのは公平ではありません。)

(語群)

1. dye 2. die 3. steal 4. steel 5. sail 6. sale 7. dear 8. deer 9. fair 10. fare

(意味)

①死ぬ・枯れる ②鋼鉄 ③鹿 ④航海する ⑤染める ⑥運賃 ⑦盗む

⑧販売・特売 ⑨親愛なる ⑩公平な

【解答・解説】

1. ⑤ / 2. ①

※dye (染める) / die (死ぬ) ・ 「死ぬ」は嘘 (lie) と同じ綴りパターンの die です。染めるは dye です。

3. ⑦ / 4. ②

※steal (盗む) / steel (鋼鉄) ・ 金属の鉄は steel、車輪は wheel と、eeを使うことが多いです。盗むは steal です。

5. ④ / 6. ⑧

※sail (航海する) / sale (販売) ・ 「売る (sell)」の名詞形は sale です。船の帆 (sail) は sail と同じ綴りです。

7. ⑨ / 8. ③

※dear (親愛なる) / deer (鹿) ・ 手紙の書き出し (Dear...) は hear (聞く) と同じ綴りです。動物の鹿は deer (ビール) と同じ綴りパターンの deer です。

9. ⑩ / 10. ⑥

※fair (公平な) / fare (運賃) ・ 交通費などの運賃は fare です。公平な (fair) は hair (髪) と同じ綴りです。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【68日目】似た音で違う意味の単語を探る

Q：次の似た音の単語を使った文を参考に、語群の単語の意味をそれぞれ選ぶ。

- ・ He wore a plain shirt on the plane. (彼は飛行機の中で無地のシャツを着ていました。)
- ・ Don't waste food or it will go to your waist. (食べ物を無駄にしないで、さもないと腰の肉になっちゃうよ。)
- ・ I ate eight cookies yesterday. (私は昨日クッキーを8枚食べました。)
- ・ The dog tried to flee from the annoying flea. (その犬はうっとうしいノミから逃げようと思いました。)
- ・ The bird flew away before it caught the flu. (その鳥はインフルエンザにかかる前に飛び去りました。)

(語群)

1. plain 2. plane 3. waste 4. waist 5. ate 6. eight 7. flee 8. flea 9. flew 10. flu

(意味)

- ①腰 ②ノミ ③飛行機 ④インフルエンザ ⑤食べた ⑥無地の・平易な
⑦飛んだ ⑧無駄にする ⑨逃げる ⑩8 (数字)

【解答・解説】

1. ⑥ / 2. ③

※plain (無地の) / plane (飛行機) ・飛行機 (airplane) は plane です。ヨーグルトなどのプレーン (plain) は plain です。

3. ⑧ / 4. ①

※waste (無駄にする) / waist (腰) ・体の腰は waist です。ゴミや無駄は waste です。

5. ⑤ / 6. ⑩

※ate (食べた) / eight (8) ・数字の8は weight (重さ) と同じ綴りが含まれる eight です。食べる (eat) の過去形は ate です。

7. ⑨ / 8. ②

※flee (逃げる) / flea (ノミ) ・虫のノミは flea です。逃げる (flee) は see (見る) と同じ綴りです。

9. ⑦ / 10. ④

※flew (飛んだ) / flu (インフルエンザ) ・インフルエンザ (influenza) の略が flu です。飛ぶ (fly) の過去形は flew です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【69日目】似た音で違う意味の単語を探る

Q：次の似た音の単語を使った文を参考に、語群の単語の意味をそれぞれ選ぶ。

- ・ You are not allowed to read aloud in the library. (図書館で声に出して読むことは許可されていません。)
- ・ The school principal has a strict principle about honesty. (その学校の校長先生は、正直さについて厳格な主義を持っています。)
- ・ You need strong muscle to open this mussel shell. (このムール貝の殻を開けるには強い筋肉が必要です。)

- The sand on the golf course is very coarse. (そのゴルフコースの砂はとても目が粗いです。)
- Music touches the soul, but dancing hurts the sole of my foot. (音楽は魂に触れますが、ダンスは足の裏を痛めます。)

(語群)

1. allowed 2. aloud 3. principal 4. principle 5. muscle 6. mussel 7. course 8. coarse 9. soul 10. sole

(意味)

- ①校長・主要な ②粗い ③魂 ④許可された ⑤ムール貝 ⑥声に出して
⑦足の裏・唯一の ⑧主義・原則 ⑨コース・進路 ⑩筋肉

【解答・解説】

1. ④ / 2. ⑥

※allowed (許可された) / aloud (声に出して) ・許可する (allow) の過去形・分詞が allowed です。うるさい (loud) に a がついたのが aloud です。

3. ① / 4. ⑧

※principal (校長) / principle (主義) ・「校長先生は私の友達 (pal)」 = Principal と覚えるのが定番です。原理原則は principle です。

5. ⑩ / 6. ⑤

※muscle (筋肉) / mussel (ムール貝) ・筋肉は muscle です。貝の種類は mussel です。

7. ⑨ / 8. ②

※course (コース) / coarse (粗い) ・進路や課程は course (o-u-r) です。目が粗いは coarse (o-a-r) です。

9. ③ / 10. ⑦

※soul (魂) / sole (足の裏) ・魂・ソウルミュージックは soul です。靴底 (sole) やヒラメ (sole) は sole です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【70日目】

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【71日目】和製英語を見比べてみる

Q：次のカタカナ日本語を英語で使う場合どの言葉が一般的か選ぶ。

- 「ホッチキス」 A. hotchkiss B. clipper C. stapler D. paper pin
- 「シャーペン (シャープペンシル)」 A. mechanical pencil B. sharp pencil C. lead pen D. point pencil
- 「コンセント (電源の差込口)」 A. consent B. plug in C. electric hole D. outlet
- 「ビニール袋」 A. vinyl bag B. nylon bag C. plastic bag D. super bag
- 「シール (文具の)」 A. sticker B. seal C. paster D. glue paper

【解答・解説】

1. C. stapler

※日本では昔の輸入メーカー名（Hotchkiss社）が定着しましたが、英語では「U字型の留め金（staple）を使う道具」という意味で stapler と呼びます。

2. A. mechanical pencil

※sharp pencil は日本の家電メーカー（シャープ）の前身が発明した際の商品名に由来します。英語では「機械仕掛け（mechanical）の鉛筆」と表現します。

3. D. outlet（※socket も可）

※consent は「同意・承諾」という重要な法律・道徳用語です。いきなり「Can I use your consent?（あなたの同意を利用していい？）」と聞くとギョッとされます。

4. C. plastic bag

※vinyl（ビニール）はテーブルクロスなどに使う厚手の素材（PVC）を指します。レジ袋などは薄いプラスチック製なので plastic bag です。

5. A. sticker

※seal は公文書に押す「印鑑」や、封蝋、または動物の「アザラシ」を指します。子供が遊んだりデコレーションしたりするものは sticker です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【72日目】和製英語を見比べてみる

Q：次のカタカナ日本語を英語で使う場合どの言葉が一般的か選ぶ。

1. 「（電子）レンジ」 A. range B. oven box C. microwave D. heater
2. 「クーラー（冷房器具）」 A. air conditioner B. cooler C. cold fan D. chiller
3. 「ドライヤー（髪を乾かすもの）」 A. dryer B. wind blower C. head dryer D. hair dryer
4. 「キーホルダー」 A. key holder B. key chain C. key keep D. key lock
5. 「トランプ」 A. trump B. game cards C. playing cards D. spade & heart

【解答・解説】

1. C. microwave

※range はガスコンロ全体や、射撃練習場（shooting range）、範囲などを指します。マイクロ波（microwave）で温めるのでこう呼びます。

2. A. air conditioner

※cooler というと、キャンプなどで飲み物を冷やしておく「クーラーボックス」を指すのが一般的です。略してAC（エーシー）とも呼ばれます。

3. D. hair dryer

※単に dryer というと、コインランドリーにあるような「衣類乾燥機」を指すことが多いです。髪用であることを明示するために hair をつけます。

4. B. key chain（※key ring も可）

※key holder というと、壁に取り付けて鍵をかけておくフックや、鍵の所有者（オーナー）を指してしまいます。鎖状なので chain です。

5. C. playing cards

※trump は本来、カードゲームの中で強い「切り札」のことです。ドナルド・トランプ氏の姓と同じですが、ゲーム自体の名称ではありません。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【73日目】和製英語を見比べてみる

Q：次のカタカナ日本語を英語で使う場合どの言葉が一般的か選ぶ。

1. 「トレーナー（服）」 A. trainer B. cotton jersey C. training wear D. sweatshirt
2. 「パーカー」 A. hoodie B. parker C. head shirt D. top coat

3. 「チャック（ファスナー）」 A. chuck B. fasten line C. zipper D. closer
4. 「ピアス」 A. pierce B. earrings C. hole rings D. ear pins
5. 「マフラー」 A. muffler B. neck warmer C. scarf D. neck tie

【解答・解説】

1. D. sweatshirt

※trainer はジムの「インストラクター」や「調教師」を指します。汗（sweat）を吸い取るシャツという意味で sweatshirt です。

2. A. hoodie

※parker は人名、あるいは高級万年筆ブランドです。「フード（hood）が付いたもの」という愛称で hoodie と呼ばれます。

3. C. zipper

※chuck は巾着（きんちゃく）をもじった日本の商標由来と言われています。英語では開閉音の「シューツ（zip）」という擬音語から zipper となりました。

4. B. earrings

※pierce は「（穴を）貫通させる」という動詞です。「I have a pierce.」と言うと「私は貫通しています（?）」と不思議な意味になります。

5. C. scarf

※muffler は車の排気音を消す「消音器」のことです。英語では、薄手も厚手（防寒用）もまとめて scarf と呼びます。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【74日目】和製英語を見比べてみる

Q：次のカタカナ日本語を英語で使う場合どの言葉が一般的か選ぶ。

1. 「フライドポテト」 A. french fries B. fried potato C. oil potato D. potato stick
2. 「シュークリーム」 A. shoe cream B. puff cake C. shoe cake D. cream puff
3. 「ホットケーキ」 A. hot cake B. baked cake C. pancake D. round bread
4. 「サイダー（炭酸飲料）」 A. cider B. soda C. sugar water D. bubble juice
5. 「ソフトクリーム」 A. soft serve B. soft cream C. ice corn D. cream cone

【解答・解説】

1. A. french fries（※イギリスでは chips）

※fried potato と言うと、「ジャガイモを丸ごと揚げたもの」という料理の説明に聞こえます。発祥地とされるベルギーがフランス語圏だったため french がついた説があります。

2. D. cream puff

※shoe cream と発音すると「靴（shoe）を磨くクリーム」になってしまいます。puff は「ふっくらしたもの」という意味です。

3. C. pancake

※フライパン（pan）で焼くケーキなので pancake です。hot cake は英語圏で全く通じないわけではありませんが、幼児語的であったり一般的ではなかったりします。

4. B. soda（※地域によって pop とも）

※英語で cider と言うと、通常はアルコールの入った「リンゴ酒」を指します。子供に cider をあげると驚かれるので注意が必要です。

5. A. soft serve

※soft cream と言うと、肌に塗る保湿クリームなどを連想させます。soft serve ice cream の略称が一般的です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【75日目】和製英語を見比べてみる

Q：次のカタカナ日本語を英語で使う場合どの言葉が一般的か選ぶ。

1. 「ピーマン」 A. piman B. paprika C. green pepper D. green chili
2. 「バイキング（食べ放題）」 A. viking B. eating free C. food bar D. buffet
3. 「アメリカンドッグ」 A. corn dog B. american dog C. hot stick D. fried sausage
4. 「サラリーマン」 A. salary man B. business boy C. company man D. office worker
5. 「OL」 A. office lady B. lady clerk C. business woman D. office worker

【解答・解説】

1. C. green pepper

※piman はフランス語（piment）やスペイン語由来です。英語では「緑色のコショウ（唐辛子）」という意味で green pepper と呼びます。

2. D. buffet

※viking は「海賊」のことです。日本初の食べ放題レストランが「インペリアル・バイキング」という店名だったことから定着しました。

3. A. corn dog

※小麦粉ではなくトウモロコシの粉（cornmeal）の生地を使うため corn dog です。american dog と言っても、「アメリカの犬？」と聞き返されてしまいます。

4. D. office worker

※salaryman は日本独特の企業文化を表す言葉として英語の辞書に載ることもありますが、一般的な会社員を指す場合は office worker を使います。

5. D. office worker

※office lady は和製英語である上に、性別を強調する表現は現代の英語圏では避けられません。男女関係なく office worker が適切です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【76日目】和製英語を見比べてみる

Q：次のカタカナ日本語を英語で使う場合どの言葉が一般的か選ぶ。

1. 「ノートパソコン」 A. laptop B. note pc C. knee com D. board pc
2. 「ブラインドタッチ」 A. blind touch B. no look typing C. touch typing D. finger typing
3. 「コストダウン」 A. cost down B. cheap plan C. cost reduction D. price cut
4. 「（不満の）クレーム」 A. claim B. shout C. demand D. complaint
5. 「アンケート」 A. questionnaire B. enquete C. answer sheet D. research paper

【解答・解説】

1. A. laptop

※デスクトップ（desktop：机の上）に対し、膝の上（laptop）に乗せて使うことからこう呼ばれます。note pc は通じません。

2. C. touch typing

※blind（盲目）という言葉は差別的な響きを含む可能性があるため、英語圏では「（キーに）触れて打つ」という意味の touch typing を使います。

3. C. cost reduction

※cost down は「名詞＋副詞」の並びで、英語としては文法的に不自然です。reduce（減らす）の名詞形 reduction を使います。

4. D. complaint

※英語の claim は「（権利として）請求する・主張する」という意味です（保険金の請求など）。不満を言う場合は complain（動詞）/ complaint（名詞）です。

5. A. questionnaire

※enquete はフランス語です。questionnaire は「質問票」という意味で、調査そのものを指す場合は survey など使われます。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける
【77日目】

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける
【78日目】似た単語をまとめて確認してみる

Q：次の日本語に対応する英語を選ぶ。

1. 「適応する、順応させる」 A. adopt / B. adapt / C. adept / D. addict

【正解：B】

A. adopt：採用する、養子にする

opt（option：選択肢）から選ぶ＝採用する。養子縁組も「選んで引き取る」こと。

B. adapt：適応する、順応させる

apt（適切な）状態にする＝環境に合わせる。アダプター（変換器）の語源。

C. adept：熟達した、名人

「e」は expert（専門家）の e と覚える。プロフェッショナルなイメージ。

D. addict：中毒にさせる、中毒者

addicted to ～（～に夢中になっている）という熟語でよく使われる。

2. 「大胆な、太字の」 A. bald / B. bold / C. fold / D. bond

【正解：B】

A. bald：ハゲた、毛のない

頭がボール（Ball）のようにツルツル（※スペルはaなので注意）。

B. bold：大胆な、勇敢な、太字の

PCの太字ボタン「B」のこと。ボール（Ball）のように太く強い線。

C. fold：折る、畳む

紙を折る、またはPCの「フォルダ（folder）」＝書類を挟んで折るもの。

D. bond：絆、債券

ボンド（接着剤）のように強く結びつくもの＝絆。

3. 「投票、投票用紙」 A. ballet / B. bullet / C. ballot / D. ballad

【正解：C】

A. ballet：バレエ（舞踊）

フランス語由来なので末尾のtを発音しない。「バレー」はvolleyball。

B. bullet：弾丸

Bull（雄牛）のように猛スピードで突進するイメージ。新幹線（Bullet train）。

C. ballot：投票、投票用紙

昔は白黒の小石（ball）を壺に投げ入れて投票したことに由来。

D. ballad：バラード（叙情歌）

ダンス（ball）の歌が語源だが、今は静かな歌を指す。

4. 「補完するもの、補足」 A. compliment / B. complement / C. implement / D. supplement

【正解：B】

A. compliment：褒め言葉、賛辞

「I（愛）」があるから褒める＝iが入る。

B. complement：補完するもの、好対照

complete（完全な）にするために必要なもの＝eが入る。

C. implement：実行する、道具

計画を実行に移すこと。道具（tool）という意味もある。

D. supplement：補足、サプリメント

不足分（sub）を満たす（ple）。complementより「おまけ」感が強い。

5. 「日記」 A. dairy / B. diary / C. daily / D. dial

【正解：B】

A. dairy：乳製品、酪農

「ai（愛）」のある牛乳、と覚えるのが定番。

B. diary：日記

dia（日）の記録。dial（文字盤）と同じ語源。

C. daily：毎日の

day（日）の形容詞形。デイリーニュースなど。

D. dial：ダイヤル、文字盤

時計や電話の文字盤。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【79日目】似た単語をまとめて確認してみる

Q：次の日本語に対応する英語を選ぶ。

1. 「肉（人間や動物の）、肉体」 A. flash / B. fresh / C. flush / D. flesh

【正解：D】

A. flash：閃光、ひらめき

カメラのフラッシュ。一瞬の光。

B. fresh：新鮮な

フレッシュマン（新人）、フレッシュジュース。RとLの違いに注意。

C. flush：顔が赤くなる、水洗トイレを流す

感情や水がドッとあふれること。トランプの「フラッシュ」も同札があふれること。

D. flesh：肉（人間や動物の）、肉体

食べる肉（meat）ではなく、生きている肉体や肌色（flesh color）を指す。

2. 「伝言、メッセージ」 A. massage / B. message / C. passage / D. usage

【正解：B】

A. massage：マッサージ

日本語の発音通り「マッサージ」は a。
B. message：伝言、メッセージ
日本語の発音通り「メッセージ」は e。
C. passage：通路、一節
pass（通る）場所。文章の一節という意味もある。
D. usage：使用法、語法
use（使う）の名詞形。

3. 「石鹸」 A. soup / B. soap / C. slope / D. soak

【正解：B】

A. soup：スープ（飲むもの）
飲む（U）ものだから u が入る。または Supper（夕食）に関連。
B. soap：石鹸
ソープオペラ（昼ドラ）は昔、石鹸会社がスポンサーだったことに由来。
C. slope：坂、傾斜
スキー場のスロープ。
D. soak：浸す、ずぶ濡れにする
液体に浸けること。soaking wet（ずぶ濡れ）。

4. 「汗」 A. sweet / B. suite / C. sweat / D. threat

【正解：C】

A. sweet：甘い
ee（イー）と横に口を広げて笑顔になる甘さ。
B. suite：一揃い、（ホテルの）スイートルーム
「甘い部屋」ではなく「一揃いの家具がある部屋」のこと。発音はsweetと同じ。
C. sweat：汗
スウェット（服）は元々、汗を吸うためのスポーツウェア。
D. threat：脅威、脅し
threaten（脅す）の名詞形。発音はスレット。

5. 「歩き回る、さまよう」 A. wander / B. wonder / C. winter / D. winder

【正解：A】

A. wander：歩き回る、さまよう
ワンダーフォーゲル（山歩き）のワンダー。あてもなく歩くこと。
B. wonder：不思議に思う、驚嘆
ワンダフル（驚くべき）のワンダー。「～かなあ」と疑問に思う時にも使う。
C. winter：冬
季節の冬。
D. winder：巻くもの
wind（風／巻く）のうち、「巻く（ワインド）」の方の名詞。
第2グループ：末尾や順序が紛らわしい (11-20)

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける
【80日目】似た単語をまとめて確認してみる

Q：次の日本語に対応する英語を選ぶ。

1. 「角度」 A. angel / B. angle / C. ankle / D. anger

【正解：B】

A. angel：天使

Michael（ミカエル）など、天使の名前はelで終わることが多い。

B. angle：角度

triangle（三角形）と同じle。カメラのアングル。

C. ankle：足首

アンクルソックス（くるぶし丈の靴下）。

D. anger：怒り

angry（怒った）の名詞形。

2. 「進路、コース」 A. cause / B. curse / C. course / D. coarse

【正解：C】

A. cause：原因、引き起こす

because（なぜなら＝原因は）に含まれている。

B. curse：呪い、悪態

「カス！」と悪態をつくイメージで覚える（語呂合わせ）。

C. course：進路、コース

日本語通り「コウ（u）ス」。of course（もちろん＝当然の進路として）。

D. coarse：粗い、下品な

「きめがア（a）らい」と覚える。

3. 「従う、一致する」 A. confirm / B. conform / C. confuse / D. confer

【正解：B】

A. confirm：確認する

con（完全に）＋firm（固める）＝確定する。

B. conform：従う、一致する

con（共に）＋form（形）＝周りと同じ形になる＝順応する。

C. confuse：混乱させる

con（共に）＋fuse（注ぐ・溶かす）＝混ざり合ってわからなくなる。

D. confer：協議する、授与する

conference（会議）の動詞形。

4. 「会話」 A. conservation / B. conversation / C. conversion / D. conservatism

【正解：B】

A. conservation：保護、節約

conserve（保存する）の名詞。Server（サーバー・保つ人）と同じserveが入る。

B. conversation：会話

verse（言葉・詩）のやり取り。verseが入っているのが会話。

C. conversion：転換、改装

convert（変換する）の名詞。コンバーチブルカー（オープンカーに変形できる車）。

D. conservatism：保守主義

conservative（保守的な）な考え方。

5. 「文脈、背景」 A. content / B. contest / C. contact / D. context

【正解：D】

A. content：中身、目次（形容詞：満足して）

コンテナ（container）の中身。アクセントが後ろだと「満足して」の意味になる。

B. contest：コンテスト、競技

test（証言・試験）をcon（共に）し合う＝競う。

C. contact：接触、連絡

コンタクトレンズ（目に接触させるレンズ）。tactは「触れる（touch）」の意。

D. context：文脈、背景

con（共に）＋text（文章）＝文章の前後関係。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【81日目】似た単語をまとめて確認してみる

Q：次の日本語に対応する英語を選ぶ。

1. 「後者の」 A. later / B. latter / C. litter / D. letter

【正解：B】

A. later：あとで（時間的に後）

late（遅い）の比較級。tは1つ。See you later.

B. latter：後者の（順序的に後）

The former（前者）and the latter（後者）。2つあるうちの2番目なのでtが2つ、と覚える。

C. litter：ごみ、散らかす

猫のトイレ砂（cat litter）。公共の場にポイ捨てされたゴミ。

D. letter：手紙、文字

レター。

2. 「緩い、締まりがない」 A. lose / B. loss / C. lost / D. loose

【正解：D】

A. lose：失う、負ける（動詞）

oが1つしかない＝oを失ってしまった。

B. loss：損失（名詞）

ロス。pet loss（ペットを失う悲しみ）など。

C. lost：失った（過去形）

ドラマ「LOST（遭難した）」、Lost child（迷子）。

D. loose：緩い、締まりがない（形容詞）

oが2つで間延びして「ゆる～い」イメージ。ルーズソックス。

3. 「静かな」 A. quiet / B. quite / C. quit / D. quote

【正解：A】

A. quiet：静かな

eがtの内側に閉じこもっている（quiet）＝静か。

B. quite：かなり、完全に

eがtの外側に出ている（quite）＝完全に外へ。

C. quit：やめる

eがない＝縁を切って辞める。

D. quote：引用する

oが入る。クオートマーク（引用符）。

4. 「不足して、稀な」 A. scare / B. scarce / C. scarf / D. score

【正解：B】

A. scare：怖がらせる

scary（怖い）の動詞形。

B. scarce：不足して、稀な

scare（怖い）+c。「食料不足で死ぬのが怖い」イメージで覚える。

C. scarf：スカーフ

首に巻くもの。

D. score：得点

スコア。刻み目という意味もある。

5. 「～を通して、通り抜けて」 A. though / B. thought / C. through / D. thorough

【正解：C】

A. though：～だけれども（接続詞）

rがない。文をつなぐ言葉。

B. thought：考えた、思考

thinkの過去形。最後にtが来る。

C. through：～を通して、通り抜けて（前置詞）

スループスのスルー。通り抜けるのでr（run/road）がある。

D. thorough：徹底的な（形容詞）

oが一つ多い。「皿（o）まで徹底的に洗う」と覚える。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【82日目】似た単語をまとめて確認してみる

Q：次の日本語に対応する英語を選ぶ。

1. 「声に出して」 A. allowed / B. aloud / C. allied / D. alloyed

【正解：B】

A. allowed：許可された

allow（許可する）の過去形。発音はBと同じ。

B. aloud：声に出して

loud（うるさい・大声で）が含まれている。read aloud（音読する）。

C. allied：同盟した

ally（同盟する）の過去形。Allied Forces（連合軍）。

D. alloyed：合金にした

alloy（合金）の過去形。

2. 「口頭の、口の」 A. oral / B. aural / C. aura / D. oval

【正解：A】

- A. oral：口頭の、口の
口を大きく開けると「O」の形になる。オーラルケア。
B. aural：聴覚の、耳の
Audio（オーディオ）と同じ au は耳関係。
C. aura：オーラ、雰囲気
日本語でも使う「あの人はオーラがある」。
D. oval：楕円形の
ovum（卵）の形。オパール顔（卵型）。

3. 「呼吸（名詞）」 A. breathe / B. breath / C. breadth / D. breeze

【正解：B】

- A. breathe：呼吸する（動詞）
最後に e があるので音が伸びて「ブリーズ」。
B. breath：呼吸（名詞）
最後に e がないので短く「ブレス」。Take a deep breath.
C. breadth：幅、広さ
broad（広い）の名詞形。
D. breeze：そよ風
海からの心地よい風（シーブリーズ）。

4. 「経歴、キャリア」 A. career / B. carrier / C. courier / D. barrier

【正解：A】

- A. career：経歴、キャリア
engineer（エンジニア）など、専門職や経歴は eer で終わることが多い。
B. carrier：運搬人、通信会社、保菌者
carry（運ぶ）＋ er。携帯キャリア（通信を運ぶ会社）。
C. courier：急使、宅配業者
クーリエ便（国際宅配便）。course（走る）が語源。
D. barrier：障害、壁
バリアフリーのバリア。

5. 「天井」 A. sealing / B. sailing / C. ceiling / D. selling

【正解：C】

- A. sealing：封印すること
seal（シール・印鑑）を押して閉じること。
B. sailing：航海
sail（帆・航海する）こと。セーリング競技。
C. ceiling：天井
シーリングライト（天井直付け照明）。c で始まる。
D. selling：販売
sell（売る）の現在分詞。ベストセリング。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける
【83日目】似た単語をまとめて確認してみる

Q：次の日本語に対応する英語を選ぶ。

1. 「デザート（食後の甘味）」 A. desert / B. dessert / C. desire / D. assert

【正解：B】

A. desert：砂漠、見捨てる

s が1つ。Sand（砂）だから1つ。アクセントが前だと砂漠、後ろだと「見捨てる」。

B. dessert：デザート

s が2つ。Sweet Stuff（甘いもの）だから2つ。

C. desire：欲望、望む

「～したい」という強い願い。

D. assert：主張する

自己主張（assertiveness）。

2. 「小麦粉」 A. flower / B. floor / C. flour / D. flyer

【正解：C】

A. flower：花

flourと同じ発音。小麦粉は「花のようになめらかな粉」だから語源も同じ。

B. floor：床

フロア。発音が違う。

C. flour：小麦粉

u（うどん）の粉、と覚える語呂合わせもある。

D. flyer：チラシ、飛行士

fly（飛ぶ）+er。空を飛ぶように配られる紙＝チラシ。

3. 「ヒロイン（女性の英雄・主人公）」 A. heroin / B. heroine / C. heron / D. hero

【正解：B】

A. heroin：ヘロイン（麻薬）

e がない。ダメ、ゼッタイ。

B. heroine：ヒロイン

hero（英雄）+ ine（女性名詞語尾）。最後に e がある。

C. heron：サギ（鳥）

アオサギ（Grey Heron）など。

D. hero：ヒーロー（男性の英雄）

男性主人公。

4. 「獲物、餌食」 A. pray / B. prey / C. play / D. gray

【正解：B】

A. pray：祈る

pray = Amen（アーメン）と祈る。

B. prey：獲物、餌食

prey = Eat（食べる）対象。Birds of prey（猛禽類）。

C. play：遊ぶ

lとrの発音注意。

D. gray：灰色

スペルはgreyとも書く。

5. 「主要な、校長」 A. principle / B. prince / C. principal / D. print

【正解：C】

A. principle：原理、原則

Rule（ルール）と同じく le で終わるから「原則」。

B. prince：王子
プリンス。

C. principal：主要な、校長

Princi-pal（Pal＝友達・人）だから「校長先生」。資本金（元金）という意味もある。

D. print：印刷する
プリント。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【84日目】

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【85日目】見たことあるような無いような略語をみる

Q1. 「なるべく早く」という意味で使われる「ASAP」の正式名称は？

A. As Soon As Probable B. As Simple As Possible C. As Soon As Possible D. As Sure As Possible

Q2. 「ご参考までに」という意味で使われる「FYI」の正式名称は？

A. For Your Interest B. For Your Information C. For Your Intelligence D. For Your Inspection

Q3. 職場での「実地研修」を指す「OJT」の正式名称は？

A. On-the-Job Training B. Over-the-Job Teaching C. Only-Job Training D. Off-the-Job Training

【解答・解説】

Q1. C. As Soon As Possible

[単語] As（～と同じくらい）/ Soon（早く）/ As（～として）/ Possible（可能な）

[解説] 直訳すると「可能な限り早く」。「エイサップ」や「アサップ」と読みます。

Q2. B. For Your Information

[単語] For（～のために）/ Your（あなたの）/ Information（情報）

[解説] 直訳は「あなたの情報のために」。ビジネスでは「参考までに（返信は不要です）」というニュアンスで使われます。

Q3. A. On-the-Job Training

[単語] On（～の上で・最中に）/ the Job（仕事）/ Training（訓練）

[解説] 実際の業務を行いながらの訓練。対義語の Off-JT（Off＝離れて）は、職場を離れて行う座学などの研修です。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【86日目】見たことあるような無いような略語をみる

Q4. 目標達成のための「重要業績評価指標」を指す「KPI」の正式名称は？

A. Key Point Indicator B. Key Process Index C. Key Plan Information D. Key Performance Indicator

Q5. 「ダメ」「不可」などを意味する和製英語「NG」の由来となった英語は？

A. Not Good B. No Good C. Never Good D. No Go

Q6. 「時と場所と場合」をわきまえることを指す和製英語「TPO」の正式名称は？

A. Time, Place, Occasion B. Time, Position, Opportunity C. Time, Place, Organization
D. Total, Place, Occasion

【解答・解説】

Q4. D. Key Performance Indicator

[単語] Key（鍵となる・重要な）/ Performance（業績・遂行）/ Indicator（指標・指し示すもの）

[解説] 目標を達成するためのプロセスが順調かどうかを計測する数値のことです。

Q5. B. No Good

[単語] No（ない）/ Good（良い・利益）

[解説] "It's no good" で「役に立たない」「無益な」という意味になります。日本の放送業界などで使われ始め、一般化しました。

Q6. A. Time, Place, Occasion

[単語] Time（時）/ Place（場所）/ Occasion（場合・行事）

[解説] 日本のファッションブランドが提唱した和製英語です。Occasion は結婚式やパーティーなどの「特別な行事」を指すこともあります。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【87日目】見たことあるような無いような略語をみる

Q7. XやInstagramなどを指す「SNS」の正式名称は？

A. Social News System B. Social Network Site C. System Networking Service D. Social Networking Service

Q8. 日曜大工など「自分でやる」ことを指す「DIY」の正式名称は？

A. Design It Yourself B. Do It Yourself C. Do It Yearly D. Don't Injure Yourself

Q9. 「要人」や「重要人物」を指す「VIP」の正式名称は？

A. Very Intelligent Person B. Very Important Person C. Valuable Interesting Person D. Very Impressive People

【解答・解説】

Q7. D. Social Networking Service

[単語] Social（社会的な）/ Networking（つながり・網を作ること）/ Service（サービス）

[解説] 人と人との社会的な繋がりを作るサービス。英語圏では Social Media と呼ぶのが一般的です。

Q8. B. Do It Yourself

[単語] Do（やる）/ It（それを）/ Yourself（あなた自身で）

[解説] 命令形で「自分でやろう」というスローガンが由来です。

Q9. B. Very Important Person

[単語] Very（とても）/ Important（重要な）/ Person（人）

[解説] 特別に重要な待遇を受ける人。「ビップ」と読みます。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【88日目】見たことあるような無いような略語をみる

Q10. 驚いた時に使われる「なんてこった」という意味の「OMG」の正式名称は？

A. Oh My Gosh B. Oh My Goodness C. Oh My God D. Oh My Great

Q11. 「安らかに眠れ（ご冥福をお祈りします）」という意味の「R.I.P.」の正式名称は？

A. Return If Possible B. Rest In Peace C. Real Important Person D. Rise In Power

Q12. 企業の「最高経営責任者」を指す「CEO」の正式名称は？

A. Chief Executive Officer B. Center Executive Owner C. Chief Electric Operator D. Central Economic Office

【解答・解説】

Q10. C. Oh My God

[単語] Oh（ああ）/ My（私の）/ God（神様）

[解説] God という言葉を直接使うのを避けて Gosh（ガッシュ）と言い換えることもありますが、略語の元は God です。

Q11. B. Rest In Peace

[単語] Rest（休息する・眠る）/ In（～の中で）/ Peace（平和・安らぎ）

[解説] お墓に刻まれる言葉です。ネット上では「終わった...（死んだ...）」という比喻でも使われます。

Q12. A. Chief Executive Officer

[単語] Chief（長の・最高位の）/ Executive（執行の・経営幹部）/ Officer（役員）

[解説] 経営のトップです。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【89日目】見たことあるような無いような略語をみる

Q13. 企業が企業に向けて行う「企業間取引」を指す「B2B」の正式名称は？

A. Business to Business B. Back to Basic C. Buy to Buy D. Best to Best

Q14. 企業が一般消費者に向けて行う「企業対消費者取引」を指す「B2C」の正式名称は？

A. Business to Company B. Basic to Custom C. Business to Consumer D. Buy to Consume

Q15. ウェブサイトなどで見る「よくある質問」を指す「FAQ」の正式名称は？

A. Fast Answered Questions B. For All Questions C. Free Access Query D. Frequently Asked Questions

【解答・解説】

Q13. A. Business to Business

[単語] Business（企業・事業）/ to（～へ：発音が two と同じ）/ Business（企業）

[解説] メーカーが問屋に売のような、会社対会社の取引です。

Q14. C. Business to Consumer

[単語] Business（企業）/ to（～へ）/ Consumer（消費者）

[解説] スーパーやコンビニが客に売のような取引です。Consume（消費する）人＝消費者です。

Q15. D. Frequently Asked Questions

[単語] Frequently（頻繁に）/ Asked（尋ねられた）/ Questions（質問）

[解説] Q&Aコーナーのことです。

■90日後に英単語習得ブーストを身に着ける

【90日目】見たことあるような無いような略語をみる

Q16. メールの宛先機能で「複写」を指す「CC」の正式名称は？

A. Carbon Copy B. Computer Copy C. Content Copy D. Circular Communication

Q17. メールの宛先機能で、他の受信者に見えないように送る「BCC」の正式名称は？

A. Black Carbon Copy B. Blind Carbon Copy C. Back Carbon Copy D. Blank Content Copy

Q18. 「別名～」 「またの名を」という意味で使われる「AKA」の正式名称は？

A. All Kinds Available B. As Knowledge As C. Also Known As D. Ask Known Answer

【解答・解説】

Q16. A. Carbon Copy

[単語] Carbon（炭素・カーボン紙） / Copy（写し）

[解説] 昔、タイプライターで複写を作る際に間に挟んでいた「カーボン紙」が由来です。

Q17. B. Blind Carbon Copy

[単語] Blind（見えない・盲目の） / Carbon Copy（写し）

[解説] ブラインド（目隠し）された状態。他の受信者からは、BCCに入れた人のアドレスは見えません。

Q18. C. Also Known As

[単語] Also（～もまた） / Known（知られている） / As（～として）

[解説] 「エイ・ケイ・エイ」と読みます。ラッパーなどが別名を名乗る時や、冗談めかしてあだ名を言う時に使います。